

# 市内遺跡発掘調査報告書

(平成26年度)

－長野県諏訪市内遺跡発掘調査報告書－

2015. 3

諏訪市教育委員会

## 例 言

1. 本書は長野県諏訪市の市内遺跡についての平成 26 年度発掘調査報告書である。
2. 調査主体者は諏訪市教育委員会であり、各作業及び本書編集は諏訪市教育委員会事務局が担当した。
3. 現地調査期間は遺跡ごとに記載した。整理作業は平成 26 年 12 月から平成 27 年 3 月まで、諏訪市埋蔵文化財整理室で行った。
4. 発掘作業と整理作業の分担は下記の通りである。  
発掘・遺構等実測…児玉利一・赤堀彰子・増澤道夫・古畑しずゑ・神奴勝正・宮坂今朝芳・川野慎一  
遺物水洗・注記…赤堀・増澤・古畑 遺物実測・トレース・採拓・写真撮影…児玉  
石器実測…日野正祥（諏訪高島城学芸員） 本文執筆…児玉
5. ジャコッパラNo22 遺跡出土の黒耀石について、蛍光X線分析による産地推定を池谷信之氏（沼津市文化財センター）に依頼した。分析結果について本書に収録している。
6. 各遺跡の調査記録は諏訪市教育委員会が保管している。略称・出土遺物の注記は下記の通りである。  
高島藩主廟所…THSB2 大安寺遺跡…SMD14 諏訪神社上社遺跡…SJK7 ジャコッパラNo22 遺跡…JKP22-2
7. 発掘調査および報告書作成に際し、下記の方々をはじめ多くの方々にご指導・ご協力を得た。記して感謝申し上げる。（五十音順、敬称略）  
池谷信之 中島 透 日野正祥 宮坂 清 守矢昌文 柳川英司 株式会社シリウス 株式会社千代田ポンプ機械 公益財団法人文化財建造物保存技術協会 渋崎建設株式会社 宗教法人諏訪大社 長野県教育委員会事務局文化財・生涯学習課

## 凡 例

1. 本文中における水系レベルは可能な限り絶対標高を使用している。
2. 本文中第 1 図は国土地理院平成 15 年 12 月 1 日発行 1/50,000『諏訪』と平成 11 年 1 月 1 日発行 1/50,000『高遠』を使用し、加筆した。第 10 図は諏訪大社平成 24 年 3 月 31 日発行『信濃國一之宮諏訪大社上社本宮建造物調査報告書』119 頁「図 1 配置図」を使用し、加筆した。第 13 図は国土地理院平成 15 年 12 月 1 日発行 1/50,000『諏訪』を使用し、加筆した。第 14 図は開発予定事業者が作成した測量図を借用し、加筆した。上記以外は諏訪市役所発行の都市計画基本図を使用した。
3. 遺跡名称および位置について、諏訪市以外は次の資料を参考にした。下諏訪町教育委員会 1986『下諏訪町の埋蔵文化財』、下諏訪町教育委員会 2008『黒耀石原産地遺跡分布調査報告書Ⅱ・星ヶ塔遺跡』、長門町教育委員会・鷹山遺跡群調査団 2001『鷹山遺跡群Ⅴ 星ヶ塔縄文時代黒耀石採掘鉱山の測量調査 - 1998～1999 年度調査報告書 -』、茅野市教育委員会 2007『茅野市遺跡分布図』
4. 執筆者間での用語の統一は行っていない。
5. 遺物観察表の法量欄で、( ) は推定復元値である。
6. 遺物番号は実測図版と写真図版で一致する。また、ジャコッパラNo22 遺跡の黒耀石は蛍光X線分析Noと一致する。

# 目 次

例言・凡例

目次

I 市内遺跡発掘調査について	1
II 高高藩主廟所（第2次）	3
III 大安寺遺跡（第14次）	6
IV 諏訪神社上社遺跡（第7次）	9
V ジャコッバラNo.22遺跡（第2次）	15
VI ジャコッバラNo.22遺跡他の黒曜石産地推定	20
写真図版	27
報告書抄録	37

奥付



# I 市内遺跡発掘調査について

## 1 今年度の発掘調査

諏訪市内には現在 220 箇所以上の埋蔵文化財包蔵地が確認されている。これらの包蔵地内における開発行為は例年発生しているが、以前に多かった規模の大きな開発事例は年々少なくなり、近年では個人住宅建設などの小規模なものが主体となっている。諏訪市教育委員会ではこれらの開発行為に迅速に対応するため、国庫補助事業として「市内遺跡発掘調査等事業」を実施し、埋蔵文化財の保護を図っているところである。

本年度の埋蔵文化財包蔵地内での開発行為に伴う発掘届および通知の提出は 10 件あった。件数は昨年に続き低調に推移している。これらのうち、2 件について試掘・確認調査を実施し、本書でその内容について報告したい（第 1 図）。また、ジャコッバラNo22 遺跡については文化財保護法第 99 条により開発予定地内の試掘調査を実施した。高島藩主廟所第 2 次調査については、平成 25 年度市内遺跡発掘調査等事業での実施だが、調査が 3 月であったため『市内遺跡発掘調査報告書（平成 25 年度）』に収録出来なかった。よって本書に収録し報告する。

### ・補助事業決定の経過（抄）

平成 26 年 2 月 7 日付け 25 生学文第 113 号

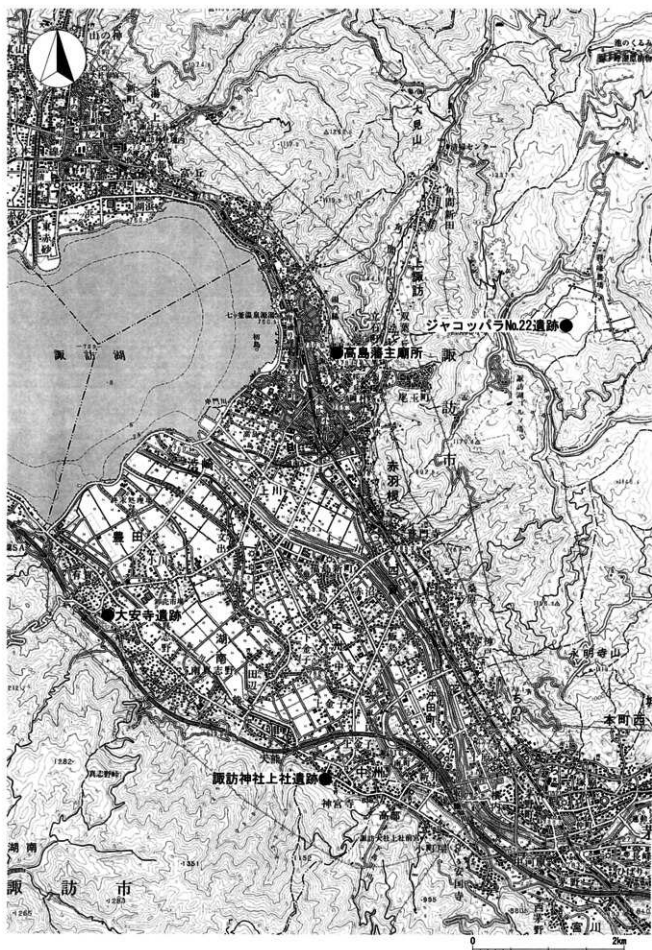
平成 26 年度国宝重要文化財等保存整備費補助金交付申請書

平成 26 年 4 月 1 日付け 25 庁財第 562 号（長野県教育委員会指令 26 教文第 140 号）

平成 26 年度国宝重要文化財等保存整備費補助金交付決定通知書

## 2 調査組織

調査組織名	諏訪市教育委員会		
調査主体者	小島 雅則（教育長）		
事務局	高見 俊樹（教育次長）		
	亀割 均（生涯学習課 課長）		
	田中 絵（生涯学習課文化財係 係長）		
	関沢 佳久（生涯学習課文化財係 主査）		
	児玉 利一（生涯学習課文化財係 主任 調査担当者）		
調査参加者	赤堀 彰子・神奴 勝正・川野 慎一・古畑 しずゑ・増澤 道夫・宮坂 今朝芳		



第1図 平成26年度調査遺跡位置図 (S=1/50,000)

## II 高島藩主廟所（第2次）

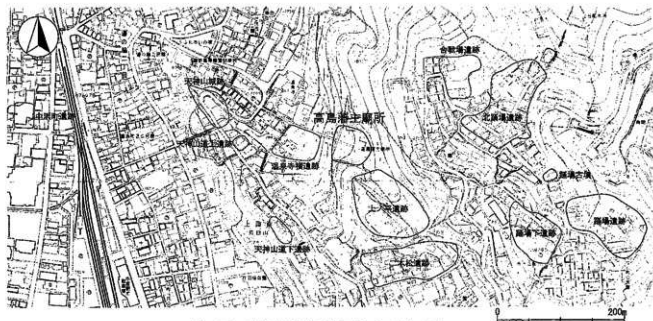
- |         |                    |         |              |
|---------|--------------------|---------|--------------|
| 1. 所在地  | 諏訪市上諏訪北垣外 10637-15 | 4. 調査目的 | 保存目的のための確認調査 |
| 2. 調査期間 | 平成 26年 3月 13日～17日  | 5. 検出遺構 | なし           |
| 3. 調査面積 | 3㎡                 | 6. 出土遺物 | 石造物片（近現代）    |

### 7. 遺跡概要及び調査概要

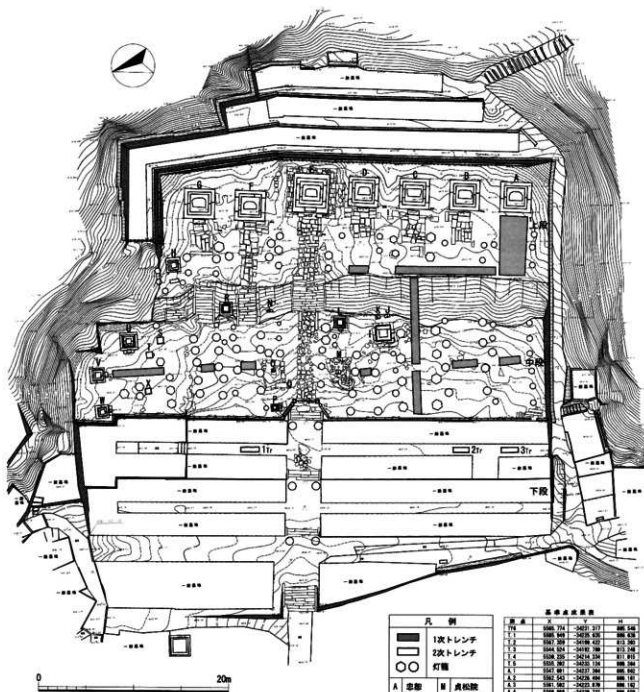
高島藩主廟所（以下、廟所と呼称）は、近世高島藩の藩主であった諏訪家の墓所である。諏訪湖東岸の霧ヶ峰丘陵端にあたる、臨江山温泉寺の裏山に所在する（第2図）。背後には霧ヶ峰高原から流れ下る角間川が解析した谷が発達しており、諏訪湖沿岸は断層崖と急傾斜で小規模な扇状地が続く。廟所背後の階段状丘陵には上ノ平遺跡や茶臼山遺跡などの旧石器時代遺跡が多く所在する。藩主居城の高島城は南西方向に直線距離で約 1.3kmの位置にある。断層崖下に沿って甲州道中が通り、下諏訪宿へと至る。

温泉寺は二代藩主の諏訪忠恒が慶安 2年（1649）に建立し、藩主菩提寺として永く崇敬され現在に至っている。元文 2年（1737）と明治 3年（1870）に火災のため焼失し、当初の建物は残されていない。

廟所には二代忠恒から八代忠恕までの七代の藩主墓と、室や子供の墓がある（第3図）。藩主墓の前には石敷きの参道があり、両側には石灯籠が並び立っている。石灯籠は現存する数で 116 基ある。廟所の特徴は歴代藩主と家族の墓が江戸時代を通じて一箇所に造営されている点と、巨大で独特な形式の墓標にある。藩主の墓標は下段が一辺 3m を越える石製方形基壇を 3 段重ね、その上に特殊な舟形（無縁塔半截形）の標身を置く。高さは 2.61m から 2.79m である。また、二代藩主墓には木造御霊屋が設けられていた。寛文 13年（1673）の建立で宝形造りの装飾の少ない茶木造りである。倒壊の危険性があったため、平成 19年（2007）に記録作成を行ったうえで解体し、部材は保管、現地には仮覆屋を設けている。なお、初代藩主の頼水の墓は茅野市の頼岳寺境内に所在している（茅野市教育委員会 1988）。墓標は 3m ほどの籃塔形で、内部に板状の石造物が安置されている。同様の墓標形式は頼水正室の貞松



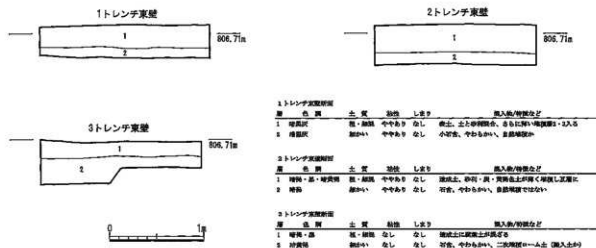
第2図 高島藩主廟所位置図 (S=1/6,000)



基準点座標表

基準点	X	Y	H
T16	3860.774	-34571.317	886.546
T17	3861.888	-34526.425	886.526
T18	3861.889	-34526.425	886.526
T19	3864.824	-34499.388	813.248
T20	3868.225	-34574.234	811.815
T21	3858.987	-34523.134	886.546
T22	3861.888	-34526.425	886.526
T23	3862.543	-34526.425	886.510
T24	3851.582	-34522.239	886.152
T25	3868.888	-34526.732	886.538
T26	3858.265	-34517.534	886.382
T27	3858.818	-34526.527	886.517
T28	3862.713	-34508.847	818.457
T29	3864.824	-34518.702	818.285
T30	3864.824	-34518.702	818.285
T31	3864.824	-34518.702	818.285
T32	3864.824	-34518.702	818.285
T33	3864.824	-34518.702	818.285
T34	3864.824	-34518.702	818.285
T35	3864.824	-34518.702	818.285
T36	3864.824	-34518.702	818.285
T37	3864.824	-34518.702	818.285
T38	3864.824	-34518.702	818.285
T39	3864.824	-34518.702	818.285
T40	3864.824	-34518.702	818.285
T41	3864.824	-34518.702	818.285
T42	3864.824	-34518.702	818.285
T43	3864.824	-34518.702	818.285
T44	3864.824	-34518.702	818.285
T45	3864.824	-34518.702	818.285
T46	3864.824	-34518.702	818.285
T47	3864.824	-34518.702	818.285
T48	3864.824	-34518.702	818.285
T49	3864.824	-34518.702	818.285
T50	3864.824	-34518.702	818.285

第3図 高島藩主廟所全体図 (S=1/400)



第4図 調査トレンチ断面図 (S=1/40)

院や、廟所内の忠恒二女盛光院も採用している。

廟所は明治時代以降も諏訪家が所有していたが、昭和27年に諏訪市に寄贈された。その後、30年代から40年代にかけて廟所の東西両側が一般墓地として造成されている。昭和46年には諏訪市の有形文化財に指定され、今日に至っている。この間、指定に先立って石造物調査や測量・配置図作成などが行われてきた(諏訪市教育委員会2000)。平成23年には地形・石造物の機械測量と、保存目的のための範囲内容確認発掘調査を実施して多くの成果を得ている(第1次、諏訪市教育委員会2013)。

今回の調査は未確認であった廟所西側の墓地部分についてである。当該地は昭和29年から31年にかけて諏訪市役所が一般墓地の造成を行っているが、それ以前は廟所の一部で参道や石灯籠があったと思われる。工事記録では工事以前の状況や工事内容の詳細が記されておらず、遺構の有無や墓地造成の状況を伺い知れなかった。そこで確認調査を実施することとなった。墓地は花崗岩や安山岩切石で区画された2.5m方形のものが87区画造られ、間を幅1.3mの砂利敷き通路が通っている。この通路部分の五・六・八代墓の参道延長上にあたる箇所トレンチを設定し、人力により掘り下げを行った。

結果はいずれのトレンチにおいても石敷きや版築土・硬化面などは確認できず、表土(腐葉土・水成堆積土)と炭化物を含む黒色土、黄褐色土がみられた(第4図)。炭化物はごく薄い堆積で、焚火によるものと推定した。廟所内では二代や八代墓参道に石敷きがみられ、その他の藩主墓参道についても石敷きであったと考えられる。第1次調査での石敷きの確認面は地表から十数cmであるため、今回のトレンチの掘り下げ深度は十分な深さである。検土杖で確認したが、50cm以上石などにあたらなため、掘削底面以下に遺構がある可能性はないと判断した。

石造物片と思われる遺物が3点出土したが、廟所内の石造物と石材が異なり破損面が新しいことから、一般墓地に伴うものであると判断した。

今回調査を行った廟所西側については、一般墓地の造成工事によって遺構が破壊された可能性が高く、現在、近世の墓所遺構が残されているのは玉垣より東側であると言える。今後は文献・絵画資料などから往時の姿を探ることにしたい。

#### <参考文献>

- 茅野市教育委員会1988『茅野市の文化財』  
 諏訪市教育委員会2000『信州高島藩諏訪家廟所』  
 諏訪市教育委員会2013『高島藩主廟所-長野県諏訪市高島藩主廟所第1次発掘調査報告書-』(2014年2版発行)



### Ⅲ 大安寺遺跡（第14次）

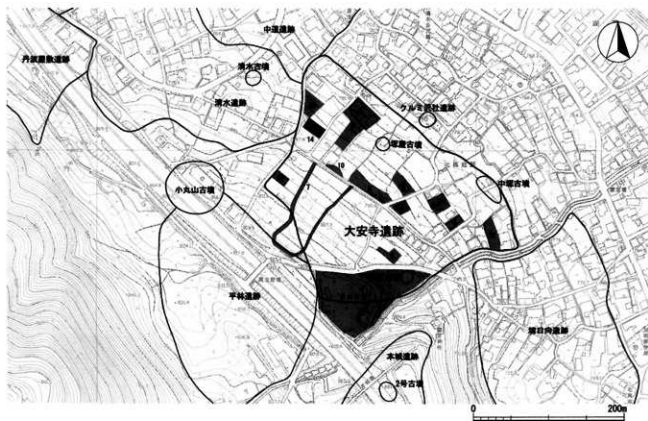
- |         |                       |         |                  |
|---------|-----------------------|---------|------------------|
| 1. 所在地  | 諏訪市豊田平林 3585-1        | 4. 調査目的 | 個人住宅建設に先立つ試掘確認調査 |
| 2. 調査期間 | 平成 26 年 4 月 16 日～17 日 | 5. 検出遺構 | なし               |
| 3. 調査面積 | 20 ㎡                  | 6. 出土遺物 | 土器・石器（縄文・弥生・平安）  |

#### 7. 遺跡概要及び調査概要

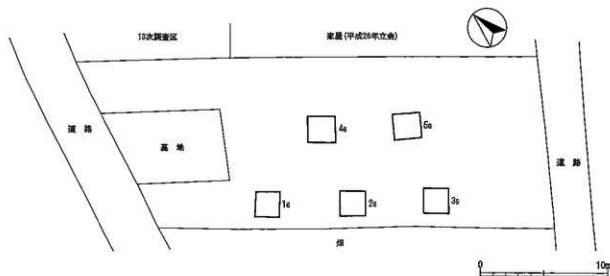
大安寺遺跡は諏訪湖南西の守屋山塊末端部に広がる集落遺跡である（第 5 図）。北東から東向きに緩斜面で、遺跡南側に流れる中ノ沢川が扇状地を形成している。遺跡の大部分は畑地であるが宅地化も進んできている。遺跡西側を走る中央自動車道の建設関連調査では目立った発見はなかったが、南隣接の本城遺跡や西側にある小丸山古墳では多くの遺構・遺物が出土している（日本道路公団名古屋建設局・長野県教育委員会 1974、1975）。

過去 13 度の調査が実施され、縄文時代中期から後期、弥生時代後期の竪穴建物跡などが検出されている（諏訪市 1995）。縄文時代後期の遺構・遺物が特に多く、「大安寺式」土器の標式遺跡となっている（藤森 1951）。また、横穴式石室を有する後期古墳も点在している。遺跡名の「大安寺」は、中世寺院があった伝承からきているが定かでない（豊田地区公民館 2011）。

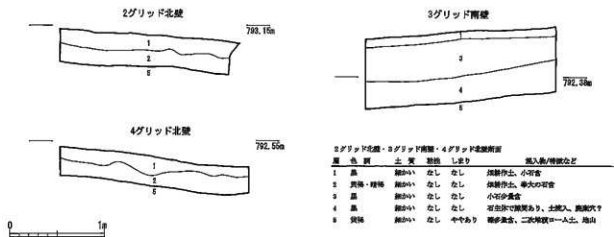
今回、遺跡範囲北の畑地について、個人住宅建設を行う計画があり、事前に試掘・確認調査を実施した。対象地内に 2m×2m のグリッドを 5 箇所設定し、人力により掘り下げを行った（第 6 図）。調査地は第 13 次調査地の南隣接地で、北側の道路で清水遺跡と分かれる。



第 5 図 大安寺遺跡位置図 (S=1/5,000)



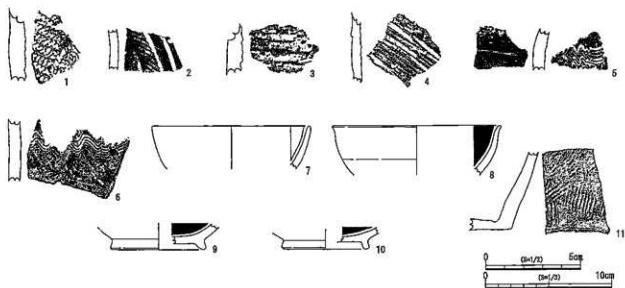
第6図 調査区位置図 (S=1/300)



第7図 調査グリッド断面図 (S=1/40)

調査の結果、畑の表土は十数 cm と薄く、すぐに地山と思われる礫・砂粒混じりのローム土に変わった (第7図)。畑耕作土から漸移土が無く変化することから、過去の土地造成により旧堆積土は削られていると推定される。ローム土は大小様々な岩礫を多量に含んでおり、二次堆積のローム土とみられる。3グリッドでは黒色土堆積が厚く、その中から石の集積が検出された。平面形は不整形で深さは約 30~40cm である。グリッド外へと続いている。遺物は出土していないもの、石と石の隙間に空間があることから現代の石捨て穴や土地造成にかかわるものと考えた。

出土遺物はごくわずかで、表面採集によるものが半分近くを占める。縄文・弥生・平安時代の土器小片が出土した (第8図)。また、黒曜石剥片が表面採集されている。1は縄文時代中期、2は同後期。3・4が弥生時代中期前半の条痕文土器、砂粒と雲母を多量に含む。3は幅広く横方向に施文。4は細かい単位で斜めに引く。5・6が弥生時代後期前半。櫛波状文を施文。5は内面に刺突文がみられる。7~10は平安時代の土師器坏で、内面黒色処理している。8は口縁端を外反させている。9・10は底部回転糸切り後、高台貼り付け。9はハの字に広がる。10は端部が方形。11は平安時代の須恵器甕。平底で外面は平行引き並形する。



第8図 大安寺遺跡出土遺物 (S=1-6が1/2, 7-11が1/3)

第1表 大安寺遺跡出土遺物観察表

番号	時代	器種	胎土 (cm)	整形・割割	胎痕	残土・色調	胎土・特徴	出土位置
8図1	弥生 中期	甕	口径 底径 高さ --- --- ---	内面 ナブ 外面 横文直文	片好	小片 内面 褐色 外面 緑褐色	縦割、砂・炭多量含む	301・2層
8図2	弥生 前期	甕	---	内面 ナブ 外面 横文直文、比線、ナブ割し	片好	小片 内外面 褐色	縦割、砂含む	表層
8図3	弥生 中期	甕	---	外面 狭方向に糸状直文	片	小片 内外面 褐色	縦割、砂多量含む	表層
8図4	弥生 中期	甕	---	内面 ナブ、横線直 文直文	片	小片 内外面 褐色	縦割、砂多量含む	301・1層
8図5	弥生 前期	甕	---	内面 横文直文、細かいナブナ 外面 縦線直文	片好	小片 内外面 褐色、黒褐色	縦割	表層
8図6	弥生 前期	甕	---	内面 細かい横ナブ 外面 縦線直文	片好	小片 内面 赤褐色 外面 黒・緑褐色	縦割、細かい炭を含む	301・2層
8図7	平安	土師器 坪	(12.0) ---	口ノ口成部 内面 細かいミガキ、黒色地肌	片好	口縁部小片 内面 褐色 外面 褐色	縦割、砂を含む	401層/表層
8図8	平安	土師器 坪	(12.0) ---	口ノ口成部 内面 ミガキ、黒色地肌	片好	口縁部小片 内面 黒色 外面 褐色	縦割、砂を含む、口縁部を外反させる	301・2層
8図9	平安	土師器 高台弁	--- (7.0) ---	口ノ口成部 内面 ミガキ、黒色地肌 外面 縦線糸状、高台筋付	片	底部小片 内面 黒色 外面 赤褐色	縦割、細かい砂を含む、高台は外側にへの手に伸び 出る	301・3層
8図10	平安	土師器 高台弁	--- (7.0) ---	口ノ口成部 内面 ミガキ、黒色地肌 外面 縦線糸状、高台筋付	片	底部小片 内面 黒色 外面 赤褐色	縦割、赤褐色粒含む、高台がへの手に伸び 出る	表層
8図11	平安	灰土器 甕	---	内面 工具と指によるナブ 外面 平行帯巻	片好 破片	小片 内外面 灰色	縦割、白色粒多量含む、平底、内外面腐食している が二次利用か自然か不明	301層

弥生時代中期前半の条痕文土器と後期の櫛指波状文を有する土器は、隣接する第9次調査区や清水遺跡第3次調査区でも比較的多く出土している(諏訪市教育委員会1990)。第9次調査では後期前半の竪穴建物跡が2棟検出されており関連する可能性もある。遺物は土層堆積と磨滅状態から流れ込みと推定されるものが多かったが、出土傾向は今までの調査成果を補強するものであった。

<参考文献>

諏訪市1995『諏訪市史』上巻

諏訪市教育委員会1990『清水I - 長野県諏訪市清水遺跡第3次発掘調査報告書 - 』

豊田地区公民館2011『豊田村誌』上巻

日本道路公園名古風建設局・長野県教育委員会1974『長野県中央道埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書 - 諏訪市内その1・その2 - 昭和48年度』

日本道路公園名古風建設局・長野県教育委員会1975『長野県中央道埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書 - 諏訪市・その3 - 昭和49年度』

藤森栄一1951『長野県諏訪郡大安寺遺跡』『日本考古学年報』

## IV 諏訪神社上社遺跡（第7次）

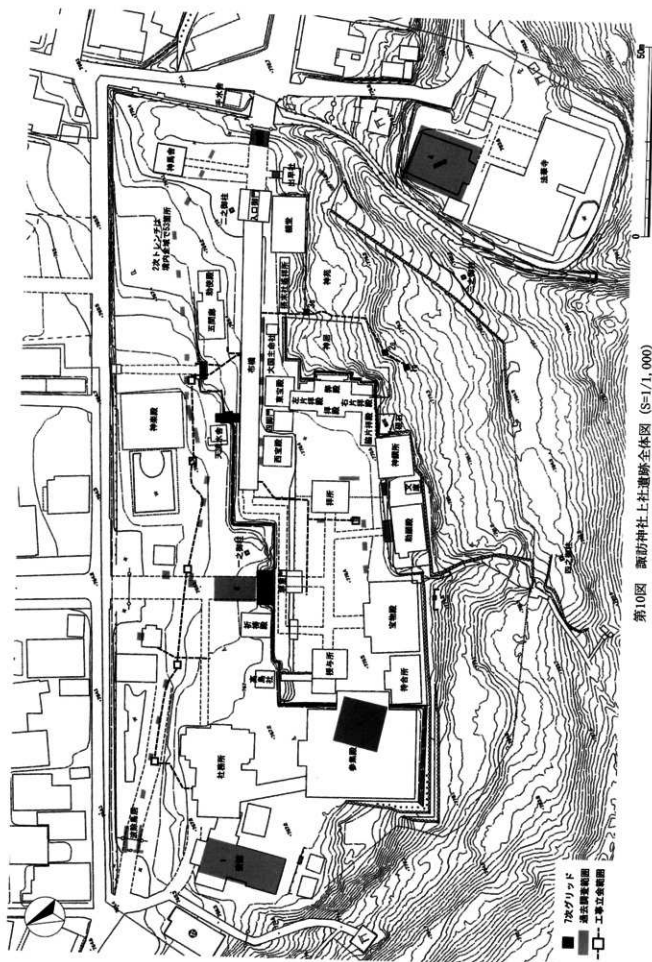
1. 所在地 諏訪市中洲宮山1
  2. 調査期間 平成26年6月3日～4日
  3. 調査面積 3㎡
  4. 調査目的 防災設備設置に先立つ試掘確認調査
  5. 検出遺構 なし
  6. 出土遺物 カワラケ・陶器・磁器・銭貨（中世・近世・近代）
7. 遺跡概要及び調査概要

諏訪神社上社遺跡は全国の諏訪系神社の総本社、諏訪大社の上社本宮境内地である（第9図）。現在地に鎮座した年代について正確には分かっていないが、奈良時代にはすでに存在していたという。守屋山麓の末端に鎮座し、かつて諏訪湖がすぐ北側まで広がっていたことから北端には波除鳥居が現在も建つ。背後の神体山は長野県の天然記念物に指定されている貴重な樹叢である。境内は山麓端の傾斜地を造成して構成され、幣殿・四脚門などのある上壇、布橋・勅使殿などの中壇、神楽殿・社務所などのある下壇の3つに分けられる（第10図、諏訪大社2012）。これまで6次の発掘調査が実施されて、遺物は境内全域から中世のカワラケや中・近世の陶磁器が出土しているが、建物などの明確な遺構は検出されていない。

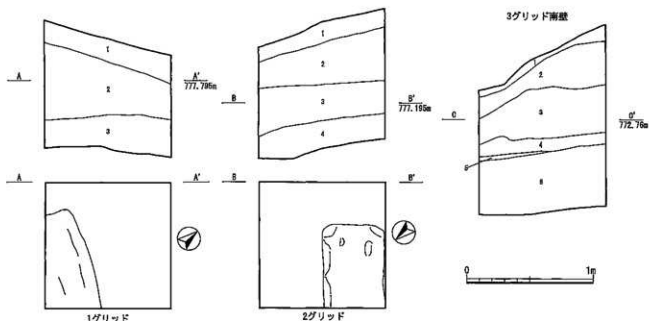
諏訪大社上社本宮では、平成24年度より国重要文化財に指定されている幣殿・拝殿（以下、幣拝殿と略す）・右片拝殿・左片拝殿・脇片拝殿・四脚門の保存修理工事を実施している。同工事は屋根の葺き替えを中心に実施しているが、これに合わせて既存の防災設備の更新と、防火防犯体制の充実を図るための設備増設（放水銃・熱検知器など）が計画された。前述のとおり、境内全体が包蔵地指定されていることから、工事内容について関係者との協議を実施し、建造物保護のために工事はやむを得ないながら、遺構などへの影響を考慮して最小限の掘削に留めながら工事を行うこととした。掘削は境内の広範囲におよぶが、なかでも幣拝殿裏の機器設置予定地についてはこれまでに発掘調査を実施



第9図 諏訪神社上社遺跡位置図 (S=1/6,000)



第10図 諏訪神社上社遺跡全体図 (S=1/1,000)



1グリッド地層断面					2グリッド地層断面				
層色	厚	性状	しまり	混入物/特徴など	層色	厚	性状	しまり	混入物/特徴など
1	黒褐色	ややあり	なし	砂土、腐葉土と植物残	1	黒褐色	なし	なし	砂土、腐葉土と植物残
2	暗褐色	なし	なし	腐葉土、少量より異様な色味、腐敗石少量含む	2	暗褐色	なし	なし	大小礫を含む腐葉土、遺物小片ばかり、黒砂土
3	暗褐色	なし	なし	腐葉土、カラカラした土、下部でわずかに腐葉土	3	暗褐色	なし	ややあり	大小礫を含む腐葉土、小骨や貝殻、小骨や貝殻がジャリジャリする
					4	暗褐色	なし	ややあり	小骨や貝殻を含む、カラカラとした腐葉土
					5	暗褐色	なし	ややあり	腐く腐敗した腐葉土、黒砂土
					6	暗褐色	なし	なし	石、炭を少量含む、カラカラした腐葉土

第11図 調査グリッド遺構図 (S=1/30)

したことがない場所であり、地下の状況が不明であったため、事前に試掘調査を行うことになった。それ以外の場所は掘削が狭小で既存設備の埋設時に調査した部分を含んでいることなどから工事立会いを実施した。工事立会いの結果も合わせて本書で報告したい。

幣拝殿裏は神居と呼ばれ、江戸時代末までは石製宝塔（お鉄塔）が安置されていた。この場所は三方向を透塀（木製板塀）によって区画されており、その外側は神苑と呼ばれている。調査地はこの神苑の透塀沿いである。神苑はさらに外側を大きく囲う石製玉垣によって外側と区画されている。現在は林になっており神社関係者も日常立ち入ることがないところであるという。ただ、近世の絵画資料では幣拝殿裏に建造物が描かれている。実際、小さな平場がいくつかみられ、第10図でも等高線の間隔が狭くなる所があることが分かる。

試掘グリッドは機器設置の位置に1m×1mで3箇所設け、人力で掘削を行った。各グリッドとも礫を多く含む褐色土を主体としていた（第11図）。建造物などの遺構は検出されなかったが、地表は傾斜地であるにもかかわらず、堆積土は水平に近い層が複数層重なっていた。また、各層からカララケなどの遺物が出土することから、自然堆積ではなく土地造成のような人為的な堆積であると考えられる。盛土による平場造成が推定される。2グリッドでは平坦面を上にする石が4層内で出土した。明確な加工痕跡はなく、4層内に取まって石の下部で堆積土に変化が無いことから、少なくとも建造物の礎石として原位置にあるとは判断できなかった。遺物を含む造成土層はさらに続くとみられたが、工事による掘削深度以下については掘り下げを行わず、調査を終了した。その後の工事立成いは7月29日から10月20日まで断続的に実施し、堆積土層の確認と遺物出土があった場合には採集した。

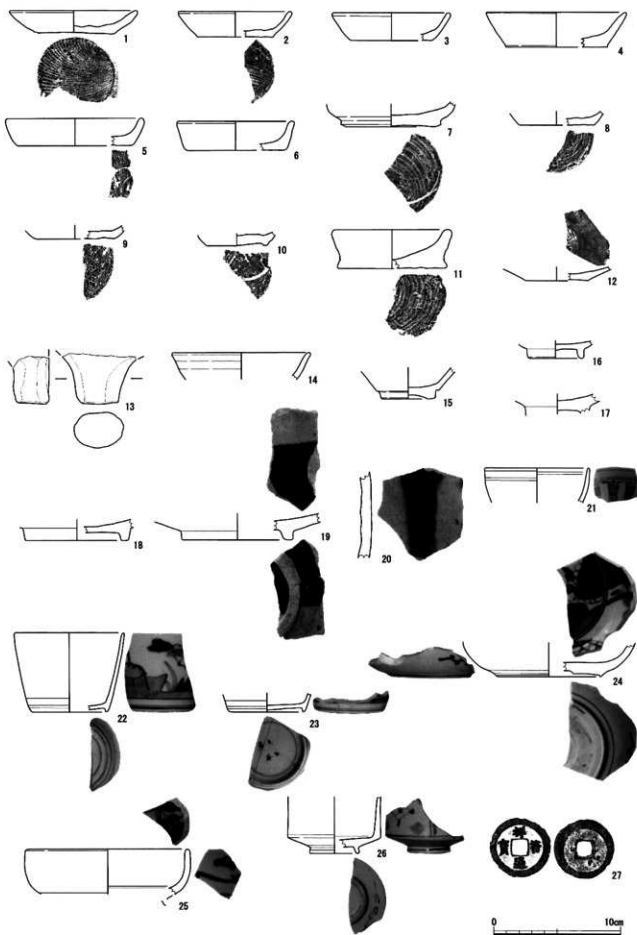
遺物は試掘調査および工事立会い時に出土した(第12図)。1～10・13～15が中世、11・12・16～26は近世の遺物で、ほかに宋銭1点を掲載した。中世に比定される遺物は全て神苑より出土している。

1～10は中世のカワラケである。いずれも平底、ロクロ成形であるが、器形や胎土・焼成は細かく異なる。1は底部静止糸切りで体部が開く。口縁端はやや尖る。底部内面は渦巻き状に指押さえしている。2・3は黒色に変色し油煙が付着、灯明に使用されたとみられる。器厚は薄く、底部は回転糸切りとヘラ整形。黒色であるのは灯明行為による変色と、製品焼成時にわざと黒色(焼し焼き)に仕上げている可能性もある。4は厚ぼったく焼成があまい。口縁端が尖る。5・6は体部の開きが少なく立ち上る。焼成があまい。7は底部のみ依存、切り離し位置が低いいため粘土柱を残す。8は腰が鋭角で器厚が薄い。9・10は体部がわずかに立ちあがってすぐに口縁となる器形のカワラケ。いわゆる「板状カワラケ」である。11は近世に属するとみられる。器厚が厚く、内面は明確な見込みをもたずに底部から体部に湾曲していく。切り離し位置を一度かえて、より下位で切り離した痕が残る。12は底部内面に型押陽刻文をもつ。破損しており内容が定かでないが、文字と文様とみられる。江戸時代後期と推定。第1次調査で梶の葉文の型押カワラケが出土しており、同様のものとみられる(諏訪市教育委員会1987)。13は火鉢または鍋の脚部とみられる。指ナデ整形。市内で出土する内耳鍋の胎土と類似し、多量の砂粒と、細かな雲母も含む。14は灰釉陶器丸皿の口縁小片。瀬戸窯産、大窯期後半の製品と思われる。15は天目茶碗の底部。削り出し内反り高台。内面は漆黒鉄釉、外面は濃灰色釉が掛る。16・17は灰釉陶器で底部のみである。法量・高台形は異なる。18・19は鉢の底部。18は高台部は無釉、内面が茶褐色鉄釉がかかる。19は縦方向に灰釉と鉄釉に掛け分けされる。20は壺または壺の体部片、灰釉地に緑釉を掛け流す。

21～26は江戸時代後期の磁器。21は肥前伊万里窯産磁器。外面に寿文と圏線、内面は口縁端に二重圏線を巡らす。22・23は同一個体とみられる肥前窯産の猪口。外面には草木花文、内面と底部外面には圏線。焼き経ぎ修理している。23底部に「大明年製」と印す。文字を認識して書いていないような字である。24は肥前窯産磁器の染付小皿。外面に唐草文、内面に草花文、底部は蛇の目高台。25は肥前窯産の染付碗(または小皿)。外面に唐草文、内面に草花文。26は瀬戸美濃窯産磁器の箱形湯呑碗。内面見込みに圏線、外面は方形区画内に井桁文。27は北宋銭「祥符通寶」。6層内から出土。同層からカワラケも出土している。初鑄は祥符2(1009)年。刻印は明瞭。近隣では茅野市荒玉社周辺遺跡から出土がある(茅野市教育委員会2006)。

神苑からはカワラケを主体として天目茶碗・宋銭が出土し、時代は中世(戦国期が目立つ)でまとまっていた。近世以前の当該地について文献資料などで詳しいものはないが、なんらかの建造物や土地利用があったであろう。下壇は江戸時代後期の陶器・磁器が出土し、肥前窯・瀬戸美濃窯の製品で占められていた。場所によって出土する遺物の時期や種類に傾向がでる可能性がある。市内では高島城周辺の城下町遺跡以外ではまとまった出土例がなく、貴重な成果を得ることができたといえる。

今回調査した場所は神居から透塀を隔てた外側の神苑である。透塀沿いは急傾斜地であるが、東に平坦地がある。現在は草木が生い茂っているが、絵画資料では、『諏訪大社上社古図』(江戸初期)に塀沿いに「如法堂」と注記された建物が描かれている。『諏訪藩一村限村絵図』(享保18年)のうち『神宮寺村絵図』と、『上宮諏方大明神本社絵図』(寛政4年)には「経堂」が描かれている。「如法堂」と「経堂」が同一建造物をさしているか定かではないが、3グリッド東側の平場には上記のような建造物が推定される。1・2グリッド周囲は緩斜面が続いており明確な平場はない。斜面上方に広い平坦地があり、「神宮寺村絵図」と『上宮諏方大明神本社絵図』にある「不明門」はそのあたりであろう。



第12図 諏訪神社上社遺跡出土遺物 (S=1/3、27は2/3)



第2表 諏訪神社上社遺跡出土遺物観察表

番号	時代	器 種	数量(m)	形状・形 態	陶 器	色 量・色 調	出 土・特 徴	出土位置
1201	中世	カワラケ	口径 底径 高さ 5.1 6.3 1.9	口径不明 底部 磨石痕あり	丸形	1/20保存 褐色	断面、磨石・磨石痕、内部磨石痕等状の磨石あり。丁寧な作り	立倉6.2136.4
1202	中世	カワラケ	径(口) 径(底) 高さ	口径不明 底部 磨石痕あり、縦状圧痕	丸形	1/20保存 褐色・暗褐色	断面、磨石・磨石痕、内部に縦溝・縦状痕、灯明に使用。褐色仕上げ痕あり。また磨石痕あり。内部外壁磨石痕の上に磨石による凹痕あり	303層
1203	中世	カワラケ	径(口) 径(底) 高さ	口径不明 底部 凹縁あり	丸形	1/20保存 褐色	断面、全周に凹縁付帯。灯明に使用。褐色仕上げ痕あり。また磨石痕あり	103層
1204	中世	カワラケ	径(口) 径(底) 高さ	口径不明 底部 ナズ型あり	やや不 丸形	1/20保存 暗赤褐色	断面、外部への磨石・凹縁をみせ、地味がよい	303層
1205	中世	カワラケ	径(口) 径(底) 高さ	口径不明 底部 凹縁あり	不 丸形	1/10保存 暗赤褐色	断面、磨石あり、地味が悪い	立倉6.2136.1
1206	中世	カワラケ	径(口) 径(底) 高さ	口径不明 底部 凹縁あり	不 丸形	1/10保存 暗赤褐色	断面、磨石・磨石痕あり、地味が悪い	立倉6.2136.1
1207	中世	カワラケ	— (径) —	口径不明 底部 凹縁あり	不 丸形	1/10保存 暗赤褐色	断面、磨石・磨石痕あり、地味が悪い	立倉6.2136.1
1208	中世	カワラケ	— (径) —	口径不明 底部 凹縁あり	丸	1/10保存 暗赤褐色	断面、磨石・磨石痕あり、磨石痕あり	303層
1209	中世	カワラケ	— (径) —	断面 縦状凹縁あり 底部内面 中央隆起ナズ型	やや不 丸形	1/10保存 暗赤褐色	断面、磨石・磨石痕あり、磨石痕あり	303層
1210	中世	カワラケ	— (径) —	断面 縦状凹縁あり 底部内面 中央隆起ナズ型	不 丸形	1/20保存 暗褐色	断面、磨石痕あり、立ち出し型のカワラケ	304層
1211	近世	カワラケ	径(口) 径(底) 高さ	口径不明 底部 凹縁あり	不 丸形	1/10保存 暗赤褐色	断面、磨石痕あり、底部内面に角切り非連続、内面明確な立ち出し型あり	立倉6.2136.3
1212	近世	カワラケ	— (径) —	口径不明 底部 凹縁あり	丸形	1/20保存 褐色	断面、磨石痕あり、片縁大きく開く、底部内面に凹縁付帯	立倉6.1.14
1213	近世	火鉢・鍋	高さ0	平底丸底形、片ナズ型形	丸	断面のみ 褐色	底面、磨石痕あり、断面縦状凹縁、断面内面に凹縁あり。足元は褐色	303層
1214	近世	火鉢 小皿	径(口) —	口径不明 内面一口に凹縁あり	丸	小片 白色	断面、口縁わずかに外反。断面大気流の凹縁あり。13C	立倉6.22
1215	中世	陶器 火鉢	— 高さ4.3 —	口径不明 内面 凹縁あり 外側 凹縁、削り出し溝あり	丸形	断面片 褐色 外側 褐色	断面、外側の凹縁は断面内側まで連続した凹縁。13C	303層
1216	近世	火鉢 陶器	— 高さ6.6 —	内外面 凹縁	丸形	断面片 褐色	断面、凹縁は断面内、高さ先くわずかに外反。断面は高さ断面以外に外反、断面内面に凹縁あり	立倉6.1
1217	近世	火鉢 陶器	— (径) —	内外面 凹縁	丸形	断面片 暗赤褐色	断面、凹縁は断面内、高さ先くわずかに外反、断面は高さ断面以外に外反、断面内面に凹縁あり	立倉6.1
1218	近世	陶器 鉢	— 高さ6.2 —	内面 凹縁 内面 凹縁連続あり、削り出し溝あり	丸形	断面1/20保存 内面 暗赤褐色・褐色 外側 暗赤褐色	断面、削り出し溝あり、内面凹縁	立倉6.21
1219	近世	陶器 鉢	— 高さ6.8 —	内外面 凹縁 高さ6.8	丸形	断面1/20保存 暗赤褐色・白色	断面、磨石痕あり、内面凹縁とも連続した凹縁を併せ分、高さ断面の凹縁あり	立倉6.4
1220	近世	陶器 鉢	— — —	口径不明 小片内面 凹縁あり 外側 暗赤褐色・褐色	丸形	断面小片 内面 暗赤褐色 外側 暗赤褐色・褐色	断面、内面口径不明、断面凹縁なし	立倉6.23
1221	近世	陶器 鉢	径(口) —	口径不明 小片内面 凹縁あり 外側 暗赤褐色・褐色	丸形	断面小片 内面 暗赤褐色 外側 暗赤褐色・褐色	断面、口縁内面に二重溝、外側凹縁あり、断面凹縁なし	立倉6.6
1222	近世	陶器 鉢	径(口) 径(底) 高さ	片縁 片縁	丸形	1/20保存 褐色 白色	断面、断面内面に草書文、断面外面に縦線、断面凹縁あり。23と同型。13C	立倉6.29
1223	近世	陶器 鉢	— (径) —	片縁 片縁	丸形	断面1/20保存 褐色 白色	断面、断面内面に草書文、断面外面に縦線、断面凹縁あり。23と同型。13C	立倉6.29
1224	近世	陶器 鉢	— 高さ6.1 —	内外面 凹縁 断面の凹縁あり	丸形	1/10保存 褐色 白色	断面、内面凹縁あり、断面草書文、断面凹縁あり。13Cあり	立倉6.6
1225	近世	陶器 鉢	径(口) —	内外面 凹縁	丸形	小片 断面 褐色白色 文脈 褐色	断面、口縁縁に立ち上る、片縁草書文、内面草書文、断面凹縁あり。13Cあり	立倉6.29
1226	近世	陶器 鉢	— (径) —	内外面 凹縁	丸形	1/20保存 褐色 褐色白色 文脈 褐色	断面、断面内面、片縁凹縁あり、断面草書文、内面凹縁あり。13Cあり	立倉6.29
1227	近世	陶器 鉢	径(口) 径(底) 高さ	断面	断面形 断面 暗赤褐色	断面形 断面 暗赤褐色	断面「片縁凹縁」、断面草書文、片縁凹縁あり	303層

一方、境内下壇の掘削工事立会いは近世から近代にかけての陶器・磁器が出土した。とくに、社務所下から神楽殿前までに多くみられた。ただし、これらの掘削は既埋設管上やそのすぐ脇であり、堆積土は複数回にわたり掘り返されていたため、近世の遺構として考えられる状態ではなかった。下壇では地表下1.5m程度に炭化物を含む黒灰色層があり、中世カワラケが出土している(諏訪市教育委員会1987)。今回の工事ではその深さまで掘削は及んでいないため、遺構は下層に埋藏されていると思われる。狭小な調査と工事であったが、境内の広範囲にわたって堆積土層と遺物の出土傾向を把握することができたことは成果であった。カワラケなどを近隣の出土資料と比較するなど、さらに検討をしたい。

#### <参考文献>

諏訪市教育委員会 1987 『諏訪神社上社遺跡 - 長野県諏訪市諏訪神社上社遺跡発掘調査報告書 - 』

茅野市教育委員会 2006 『荒玉土局辺遺跡 - 平成13年度～平成17年度茅野市安国寺地蔵宮土地区画整理事業に伴う緊急発掘調査報告書 - 』

諏訪大社 2012 『信濃國一之宮 諏訪大社上社本宮 建造物調査報告書』

## V ジャコッバラNo.2 遺跡 (第2次)

- |                               |                          |
|-------------------------------|--------------------------|
| 1. 所在地 諏訪市四賀霧ヶ峰 7719-186 他    | 4. 調査目的 太陽光発電施設建設に係る試掘調査 |
| 2. 調査期間 平成 26 年 11 月 4 日～20 日 | 5. 検出遺構 石器集中出土地点・小堅穴     |
| 3. 調査面積 84 m <sup>2</sup>     | 6. 出土遺物 黒耀石器 (旧石器)       |

### 7. 遺跡概要及び調査概要

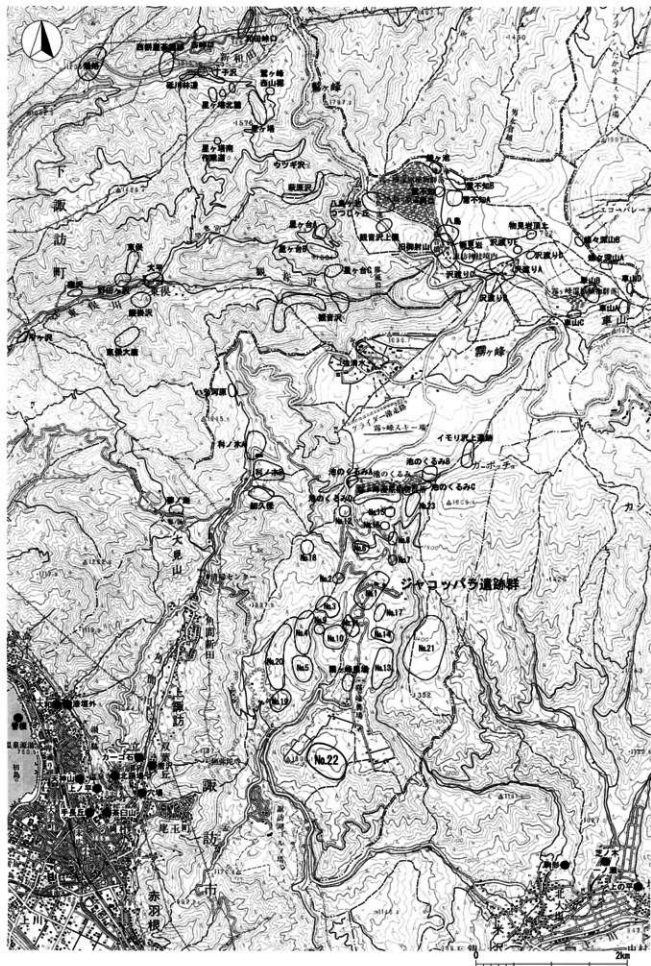
ジャコッバラ遺跡群は霧ヶ峰高原南麓の標高約 1,300～1,600mに分布する 23 箇所の遺跡の総称で、旧石器時代から縄文時代を主体とする (第 13 図)。なだらかな高原地帯で、検沢川と横河川などが解析した谷に挟まれた瘦せ尾根上台地に点在し、平成 3～10 年度に行われた黒耀石原産地遺跡分布調査によって把握された (諏訪市教育委員会 1999)。河川は茅野市に流入しており、検沢川は国史跡駒形遺跡のある扇状地へ、横河川は国宝土偶が出土した棚畑遺跡のある扇状地に出て上川に合流する。遺跡群北側の国天然記念物「霧ヶ峰湿原植物群落」跡場湿原の周囲には池のくるみ遺跡群がある。ジャコッバラ遺跡群と池のくるみ遺跡群は地形的に異なっているものの隣接しており年代的にも近いと思われる遺跡があることから、両者は一括して考えられるという (高見 1995)。

ジャコッバラNo.2 遺跡は遺跡群の最南端に位置し、最も標高が低い遺跡である。1997 年の分布調査において新たに発見された遺跡である (諏訪市教育委員会 1998)。縄文時代早期の押型土石器と黒耀石器が出土し、集石炉が検出された。南北約 400m、東西約 500mが包蔵地範囲となっている。遺跡内は谷から湿地に至る西側部分と、東側の尾根上平坦地および緩傾斜地からなる。

今回、大規模太陽光発電施設の建設計画があり、事前に遺構分布確認のため試掘調査を行った。調査グリッドは尾根上を中心に左右の斜面に広がるように設定した (第 14 図)。対象範囲は第 1 次調査と重なるが、グリッド設定位置は重ならない所になるよう設定した。西側の湿地は計画外であったため調査対象としていない。調査地について、東西北の三方向は農場として開墾されているが、遺跡を含めた南側は森林である。大部分は松林で、膝丈ほどの熊笹や人文のススキが生い茂っている。尾根先端の長さ 120m、幅 30mは模型飛行機の滑走路として芝が貼られ整備されている。2m×2mの試掘グリッドを 21 箇所設定し、人力により掘り下げを行った。いずれのグリッドも堆積土層は同様で、20 グリッドでは表土下約 30～40cmに含有物の無いきれいな黒色土がみられ、徐々に暗褐色土に漸移し、60cmほどでソフトローム土に変化する (第 15 図)。水分を含み粘性が強い。80～95cmでハードローム土に達する。各グリッドで堆積の厚さは異なるが、石などは含まずきれいな自然堆積がみられた。

調査地の大部分は遺構・遺物とも検出されなかったが、7 グリッドで黒耀石剥片がわずかに出土した。そのため、周辺に 3 箇所追加でグリッドを設けて掘り下げを行い、20・21 グリッドで同様に黒耀石片が出土した。また、周囲で黒耀石片が表面採集された。19 グリッドでは出土しなかったため、石器集中出土地点の範囲はおおよそ南北 11m、東西 17mと推定される。また、21 グリッドでは小堅穴 1 基を検出した。円形で斜めに掘り込み、深さ 50cm。埋土は黒色土にローム粒が混ざる。遺物が出土しておらず、時代の断定はできないが、縄文時代以降であると思われる。

遺跡の保護については、調査結果を受けて事業者と協議を行い、遺構検出の周辺は金属パイプ打込みによる基礎施工方法にすることとし、記録保存調査は行わず工事立会いとすることとした。



第13図 ジャコッバラNo.2 遺跡位置図 (S=1/50,000)

出土遺物は全て黒耀石で、剥片が 13 点、小原石 1 点である。出土層はソフトローム土から漸移土・黒色土の下層で、土器など他の遺物を含まないことから旧石器時代と考える。黒耀石は不純物を含まず透明度が高い黒色のものと、大きめの球礫を含み縞状に線が入る表皮をもつものがある。定形的石器は出土していない。第 16 図は 20 グリッド出土のナイフ形石器の素材となる縦長剥片で、背面には主要剥離面と同一方向の連続する剥離がみられ、左側中央に連続する微細な剥離がみられる。ほかの剥片は小片で目立った特徴がみられない（写真図版 9 下段）。13 グリッドのソフトローム土上面で直径 1cm に満たない粒状の小原石が 1 点出土した（写真図版 9 下段 12）。同様の小原石はジャコッパラ No15 遺跡や強清水遺跡で出土している。年代については上述の縦長剥片から考えたい。大きめの剥片であり、石刃技法がみられるが整っていない。類似した剥片は上ノ平遺跡第 4 次調査の第 I b 層～第 II 文化層にみられ（諏訪市教育委員会 1996）、長和町追分遺跡群の第 4 文化層（長門町教育委員会 2001）、茅野市上見遺跡（茅野市教育委員会 1991）から出土している。後期旧石器時代でもナイフ形石器を中心とする古手のものと考えられる。おおよそ A T 火山灰降下後のこととみられる。

出土した黒耀石 14 点について産地推定のため、静岡県沼津市文化財センターの池谷信之氏に蛍光 X 線分析を依頼した。結果の詳細については後述に譲るが、今回出土した黒耀石で判別できたものは全て諏訪星ヶ台産に属するという結果であった。遺跡から最も近い原産地地域であり、妥当な結果といえる。不純物を含まず透明度が高いものと、球礫を含み白色縞が表皮に入るものの 2 種があるが、同様の特徴は星ヶ台 A・B・C 各遺跡や星ヶ塔遺跡など複数地点でみられ（下諏訪町教育委員会 2008）、現時点でさらなる絞り込みは難しい。肉眼観察と理化学分析の両方によって産地推定の精度を高めていきたい。

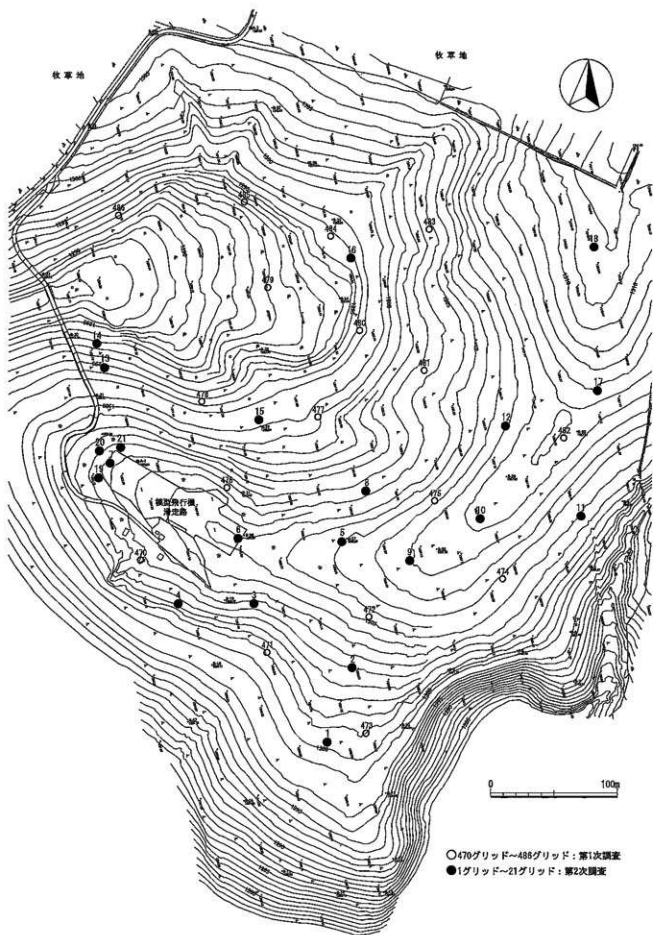
No22 遺跡はこれまで縄文時代の遺跡として登録されていたが、今回新たに旧石器時代の存在を確認できた。遺構の全体を捉えたわけではないが、出土遺物の点数が少ないことから原産地直下の石器大量製作遺跡のような性格ではないと思われる。短期の石器製作か一時的な滞在地であろう。

産地推定では No22 遺跡とは別に、No1 から No23 遺跡の過去の調査で出土した旧石器時代の黒耀石遺物についても蛍光 X 線分析を行った（報告書掲載遺物に限る）。比較資料として結果のみ掲載するが、諏訪星ヶ台群と和田鷹山群のほかに、八ヶ岳冷山の黒耀石が定量あることがわかった。田中総はジャコッパラ遺跡群について「黒耀石運搬の中継地と加工場としての役割を果たしていた」と評価しているが（田中 2002）、近くの原産地とともに、離れた原産地の黒耀石についても中継・加工する役割があったということであろうか。遺跡個々の時代や性格、また、全体としての関連の有無や原産地との関係について改めて検討する必要がある。また、今後の調査にあたって、より広い視野をもってあたりたい。

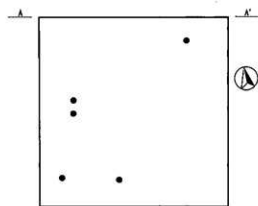
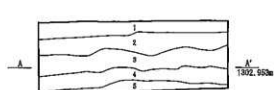
ジャコッパラ遺跡群を含む霧ヶ峰高原は国内屈指の黒耀石原産地地域であるが、その多くの土地は未調査で遺跡の全容は把握されていない。遺跡の把握と保護に努めたい。

#### <参考文献>

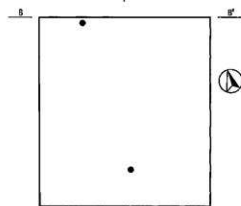
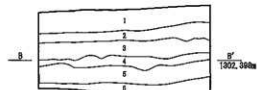
- 下諏訪町教育委員会 2008 『黒耀石原産地遺跡分布調査報告書Ⅱ- 星ヶ塔遺跡 -』
- 諏訪市教育委員会 1996 『上ノ平Ⅱ- 長野県諏訪市上ノ平遺跡第 4 次調査概要報告書 -』
- 諏訪市教育委員会 1998 『ジャコッパラⅡ- 平成 9 年度長野県黒耀石原産地遺跡分布調査概要 -』
- 諏訪市教育委員会 1999 『ジャコッパラ遺跡群』
- 高見俊樹 1995 『第一章 旧石器時代の諏訪』『諏訪市史』上巻 諏訪市
- 田中総 2002 『黒耀石原産地周辺の遺跡群- 霧ヶ峰- ジャコッパラ遺跡群について -』『黒耀石文化研究』創刊号
- 明治大学人文科学研究所
- 茅野市教育委員会 1991 『上見遺跡- 県営運動整備事業に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書 -』
- 長和町教育委員会 2001 『県道男女倉長門線改良工事に伴う発掘調査報告書- 鷹山遺跡群第 I 遺跡および追分遺跡群発掘調査 -』



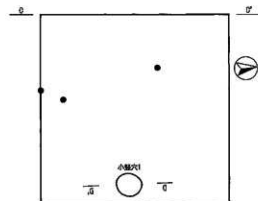
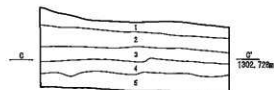
第14図 調査区位置図 (S=1/3,000)



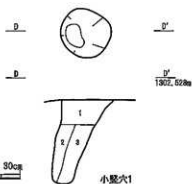
7グリッド



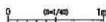
20グリッド



21グリッド



第15図 調査グリッド遺構図

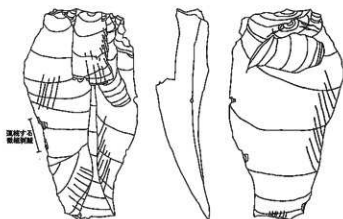


7グリッド北壁・50グリッド北壁・51グリッド南壁断面

層	色調	土質	砂物	しきり	侵入物/特徴など
1	黒	細かい	なし	なし	灰土、家畜遺作
2	黒	細かい	ややあり	なし	やわらかな灰土
3	黒褐色	細かい	ややあり	なし	やわらかな灰土
4	黒褐色・砂物	細かい	ややあり	ややあり	しきり、やや灰色がかる
5	黄褐色	細かい	ややあり	ややあり	ローマン灰土、ローマブロッカ、動物骨かく乱あり
6	黄褐色	細かい	ややあり	ややあり	ソフトローマ土、動物骨かく乱あり
7	黄褐色	細かい	あり	あり	ソフトローマ土、かく乱なし、水が多かり強い
					砂物多量、水がやや多かりしきり、ハードローマ土層

小竪穴1断面

層	色調	土質	砂物	しきり	侵入物/特徴など
1	黒	細かい	あり	なし	灰土とローマ土が混ざる
2	黒	細かい	あり	ややあり	灰土にローマ土が混ざる、1層よりしきり
3	黒褐色	細かい	あり	ややあり	ローマ土混ざらない



第16図 ジャコッパラNo.2 2遺跡出土石器 (S=1/1)

## VI ジャコッパラNo.2 2遺跡他の黒曜石産地推定

池谷 信之

### 1. 対象資料

ジャコッパラ遺跡群は霧ヶ峰南麓の標高 1300m から 1600m の丘陵上に展開している。星ヶ台産出地や観音産出地から数 km の位置にあり、諏訪エリア原産地から消費地遺跡への黒曜石の受給を考えると、きわめて重要な遺跡群である。

今回、諏訪市教育委員会より、ジャコッパラNo.22 遺跡第 2 次調査出土の旧石器時代黒曜石について産地推定の依頼を受けた。対象としたのは、出土石器のうち分析可能なすべての黒曜石 14 点であるが、同遺跡群から出土した旧石器時代の主要な石器 (No.1 遺跡・No.3 遺跡・No.4 遺跡・No.5 遺跡・No.6 遺跡・No.8 遺跡・No.10 遺跡・No.12 遺跡・No.13 遺跡・No.19 遺跡・No.21 遺跡、計 140 点) も含めて産地推定を実施した。

### 2. 分析方法

#### a. 原産地推定法

原子の周囲には内側から順に K 殻・L 殻・M 殻……と呼ばれる軌道 (電子殻) があり、外殻側は内殻側に比べより高いエネルギーを有している。原子に照射された一次 X 線は原子核の内殻側の電子をはじき飛ばすが、空席となった場所 (空孔) には、外殻側の電子がエネルギーを放出しながら落ちてくる。このエネルギーが二次 X 線 (蛍光 X 線) である。軌道間のエネルギー差は原子によって固有であるため、発生した蛍光 X 線も元素ごとに固有のエネルギー (波長) を有することになる。試料に含まれる元素 A の濃度が高ければ、より多くの蛍光 X 線 a が生じるため (強度として示される)、試料中の元素 A の濃度を求めることが可能となる。

こうした原理を用いた分析法が蛍光 X 線分析法であり、用いられる機器には「波長分散型」と「エネルギー分散型」がある。後者のエネルギー分散型は波長分散型に比べて分解能が低いものの、完全な非破壊分析であり、装置がコンパクトかつ比較的安価であり、測定が簡便であるという利点がある。今回の分析に用いた装置は、池谷が所有するセイコー電子工業社製エネルギー分散蛍光 X 線装置 SEA-2110 である。

測定条件を次に示す。

電圧：50kV 電流：自動設定 ターゲット：Rh 管球 照射径：10mm 測定時間：300sec

検出器：Si (Li) 検出器 雰囲気：真空

計測された元素は以下の 11 元素である。

アルミニウム (Al)、ケイ素 (Si)、カリウム (K)、カルシウム (Ca)、チタン (Ti)、マンガン (Mn)、鉄 (Fe)、ルビジウム (Rb)、ストロンチウム (Sr)、イットリウム (Y)、ジルコニウム (Zr)

得られた元素の強度を用い、以下の 2 つの方法によって産地を決定する。

#### ① 判別図法 (図による産地推定)

測定の結果得られる各元素の蛍光 X 線強度から以下の 4 つの指標を計算する。

指標 1  $Rb \text{ 分率} = Rb \text{ 強度} \times 100 / (Rb \text{ 強度} + Sr \text{ 強度} + Y \text{ 強度} + Zr \text{ 強度})$

指標 2  $Mn \text{ 強度} \times 100 / Fe \text{ 強度}$

指標 3  $Sr \text{ 分率} = Sr \text{ 強度} \times 100 / (Rb \text{ 強度} + Sr \text{ 強度} + Y \text{ 強度} + Zr \text{ 強度})$

指標 4  $\log(Fe \text{ 強度} / K \text{ 強度})$

指標 1・2 と指標 3・4 をそれぞれ X 軸と Y 軸とした 2 つの判別図 (図 1 左・図 1 右) を作成し、原産地黒曜石の散布域とプロットされた遺跡出土黒曜石の位置によって産地を決定する。

## ② 判別分析 (多変量解析による産地推定)

判別図法による産地推定結果を検証するために、多変量解析の一手法である判別分析を行っている。判別分析では遺跡出土の試料 1 点ごとに、各原産地との距離 (マハラノビス距離と呼ばれる) を計算し、試料との距離がもっとも小さい産地がその試料の産地の第 1 の候補となる。またそれぞれの産地とのマハラノビス距離から、試料が各原産地に属する確率も計算され、その数値が 1 (100%) に近いほど推定結果の信頼性は高くなる。

表③～表④では紙数の関係から推定候補の第 2 位までのマハラノビス距離と確率を示した。判別分析の結果と判別図法を総合して最終的な推定産地を決定している。

## b. 原産地黒曜石の測定

推定の基準試料となる原産地黒曜石については、以下の産地の原石を収集し測定した。

高原山エリア：桜沢

和田 (WD) エリア：芙蓉ライト・丁子御領・鷹山・小深沢・東餅墨土屋橋・土屋橋北 (3 地点)・土屋橋東 (2 地点)

土屋橋西・土屋橋南・鷲ヶ峰・ウツギ沢・古峠・和田峠西

和田 (WO) エリア：ブドウ沢・牧ヶ沢下・牧ヶ沢上・高松沢・本沢下

諏訪エリア：星ヶ台・星ヶ塔・水月霊園・東俣・八島

蓼科エリア：麦草峠・麦草峠東・渋ノ湯・冷山・双子池

箱根エリア：芦ノ湯・畑宿・黒岩橋・甘酒橋・鍛冶屋・上多賀

天城エリア：柏峠

神津島エリア：恩馳島・長浜・沢尻・砂糠崎

## 3. 分析結果

### (1) ジャコッバラNo22 遺跡

ジャコッバラNo22 遺跡の判別図を図 1 に示し、産地別集計表を表 1 に示した。資料 1 点ごとの分析結果は表 3 に示した。分析した 14 点のうち、「推定不可」となったものが 3 点含まれるが、それ以外はずべて諏訪星ヶ台産 (SWHD) であった。「推定不可」となったものの中に、判別分析結果 1 位の候補として和田小深沢産 (WDKB) を示しているものが 1 点 (No22-12) 含まれており、他の原産地が含まれている可能性がある。また諏訪原産地には、星ヶ台・星ヶ塔・八島・東俣・水月霊園などの産出地があるが、非破壊の蛍光 X 線分析ではこれらの細別ができない。採取地点を地理的に限定するには、原礫面の観察などを合わせて行う必要がある。

### (2) ジャコッバラNo1 遺跡他



ジャコッパラNo.1 遺跡他の判別図を図2に示し、産地別集計表を表2に示した。資料1点ごとの分析結果は表3～表4に示した。なお表3～表4の「報告書No」は「諏訪市埋蔵文化財調査報告書」の号数を示し、図版番号は報告書に掲載された図版の番号を示している。

分析された資料は、旧石器時代に帰属するものに限定して抽出されているが、台形椀石器や角錐状石器、後半段階のナイフ形石器など、複数の時期のものが含まれている。また製品としての石器と主要な剥片類に限定した分析であるため、産地推定結果については、対象を剥片類に広げた後に改めて評価を行いたい。

<参考文献>

- 諏訪市教育委員会 1988 『ジャコッパラI-長野県諏訪市ジャコッパラ遺跡第1次発掘調査報告書-』 諏訪市埋蔵文化財報告第17集
- 諏訪市教育委員会 1993 『ジャコッパラII-平成4年度長野県黒曜石原産地分布調査概報-』 諏訪市埋蔵文化財報告第27集
- 諏訪市教育委員会 1994 『ジャコッパラIII-平成5年度長野県黒曜石原産地分布調査概報-』 諏訪市埋蔵文化財報告第29集
- 諏訪市教育委員会 1995 『ジャコッパラIV-長野県諏訪市ジャコッパラNo.12 遺跡緊急発掘調査報告書-』 諏訪市埋蔵文化財報告第32集
- 諏訪市教育委員会 1996 『ジャコッパラV-平成6年度長野県黒曜石原産地分布調査概報-』 諏訪市埋蔵文化財報告第30集
- 諏訪市教育委員会 1997 『ジャコッパラⅥ-長野県諏訪市ジャコッパラNo.6・No.15 遺跡緊急発掘調査報告-』 諏訪市埋蔵文化財報告第35集
- 諏訪市教育委員会 1997 『ジャコッパラⅦ-平成8年度長野県黒曜石原産地分布調査概報-』 諏訪市埋蔵文化財報告第38集
- 諏訪市教育委員会 1998 『ジャコッパラⅧ-平成9年度長野県黒曜石原産地分布調査概要-』 諏訪市埋蔵文化財報告第46集

表1 ジャコッパラ No.22 遺跡の産地推定集計表

エリア	判別群	記号	試料数	%
和田(WD)	フオーライト	WDHY	0	0.0
	嵐山	WDTY	0	0.0
	小塚沢	WDKB	0	0.0
	土屋橋北	WDTK	0	0.0
	土屋橋西	WDTN	0	0.0
	土屋橋南	WDTM	0	0.0
	古峠	WDHT	0	0.0
和田(WO)	高松沢	WOTM	0	0.0
	ブドウ沢	WOBD	0	0.0
	牧ヶ沢	WOMS	0	0.0
諏訪	星ヶ台	SWHD	11	100.0
諏科	冷山	TSTY	0	0.0
	双子山	TSHG	0	0.0
	槍峠	AGKT	0	0.0
霜根	畑宿	HNHJ	0	0.0
	観治屋	HNKJ	0	0.0
	黒岩橋	HNKI	0	0.0
	上多賀	HNKT	0	0.0
	戸ノ湯	HNAY	0	0.0
神津島	志動島	KZOB	0	0.0
	砂越崎	KZSN	0	0.0
	砂越崎X	KZSX	0	0.0
高原山	甘湯沢	THAY	0	0.0
合計			11	100.0

不可	3	
非黒曜石	0	
総計	14	

表2 ジャコッパラ No.1 遺跡他の産地推定集計表

エリア	判別群	記号	試料数	%
和田(WD)	フオーライト	WDHY	0	0.0
	嵐山	WDTY	23	16.8
	小塚沢	WDKB	3	2.2
	土屋橋北	WDTK	0	0.0
	土屋橋西	WDTN	0	0.0
	土屋橋南	WDTM	0	0.0
	古峠	WDHT	0	0.0
和田(WO)	高松沢	WOTM	0	0.0
	ブドウ沢	WOBD	0	0.0
	牧ヶ沢	WOMS	0	0.0
諏訪	星ヶ台	SWHD	77	56.2
諏科	冷山	TSTY	34	24.8
	双子山	TSHG	0	0.0
	槍峠	AGKT	0	0.0
霜根	畑宿	HNHJ	0	0.0
	観治屋	HNKJ	0	0.0
	黒岩橋	HNKI	0	0.0
	上多賀	HNKT	0	0.0
	戸ノ湯	HNAY	0	0.0
神津島	志動島	KZOB	0	0.0
	砂越崎	KZSN	0	0.0
	砂越崎X	KZSX	0	0.0
高原山	甘湯沢	THAY	0	0.0
合計			137	100.0

不可	3	
非黒曜石	0	
総計	140	



表3 ジャコッバラ遺跡群の産地推定結果(1)

No	分析No	報告書No	図記号等	産種	推定産地	特別選別	判別分析					R <sub>2</sub>	Mn/Fe	Sr/C	Fe/K	
							統計1	距離1	確率1	統計2	距離2					確率2
1	No22-1	75	写真1	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	8.88	1.00	WDTK	115.81	0.00	37.46	11.40	11.76	1.01
2	No22-2	75	写真2	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	3.95	1.00	WDTN	95.15	0.00	39.39	11.12	13.54	1.02
3	No22-3	75	写真3	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	6.51	1.00	WDTN	66.89	0.00	39.54	10.37	13.41	1.04
4	No22-4	75	写真4	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	4.64	1.00	WDTN	101.12	0.00	36.73	10.73	13.90	1.01
5	No22-5	75	写真5	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	4.30	1.00	WDTN	112.21	0.00	36.35	10.93	13.69	0.99
6	No22-6	75	写真6	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	1.65	1.00	WDTN	81.56	0.00	39.04	10.98	12.11	1.04
7	No22-7	75	写真7	銅片	不可	不可	SWHD	25.30	1.00	KZSN	128.94	0.00	34.59	11.19	15.21	1.00
8	No22-8	75	写真8	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	1.73	1.00	WDTN	63.16	0.00	39.04	10.60	11.52	1.06
9	No22-9	75	写真9	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	1.45	1.00	WDTN	86.86	0.00	37.48	10.66	12.81	0.99
10	No22-10	75	写真10	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	2.76	1.00	WDTN	73.01	0.00	39.95	10.83	13.03	0.99
11	No22-11	75	写真11	銅片	不可	不可	SWHD	14.22	1.00	WDTN	45.14	0.00	41.71	10.36	10.82	0.99
12	No22-12	75	写真12	銅片	不可	不可	WOKB	4.50	0.86	WDTY	9.89	0.14	52.81	12.39	1.18	1.15
13	No22-13	75	写真13	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	7.62	1.00	WDTN	94.29	0.00	37.36	10.89	11.06	1.07
14	No22-14	75	写真14	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	0.48	1.00	WDTN	86.94	0.00	37.86	10.72	13.29	1.04
15	No1-1	17	12	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	9.34	1.00	WDTK	111.13	0.00	38.91	11.39	12.37	1.02
16	No1-2	17	12	銅片	WDTY	WDTY	WDTY	2.21	0.99	WOKB	10.93	0.01	53.61	12.65	0.41	1.10
17	No1-3	17	12	銅片	WDTY	WDTY	WDTY	4.28	1.00	WOKB	24.33	0.00	52.88	13.92	0.22	1.11
18	No1-4	17	12	銅片	WDTY	WDTY	WDTY	9.76	1.00	WDHY	18.73	0.00	53.22	13.91	0.52	1.05
19	No1-5	17	12	銅片	WOKB	WOKB	WOKB	3.90	1.00	WDTY	19.78	0.00	51.32	12.19	4.74	1.21
20	No1-6	17	12	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	9.41	1.00	WDTN	73.96	0.00	40.27	11.16	9.48	1.04
21	No1-7	17	12	銅片	TSTY	TSTY	TSTY	2.71	0.99	KZSX	8.75	0.01	23.09	5.40	29.15	1.59
22	No1-8	17	12	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	1.48	1.00	WDTN	79.42	0.00	39.12	10.96	11.77	1.04
23	No1-9	17	12	銅片	TSTY	TSTY	TSTY	5.41	1.00	TSHG	12.99	0.00	23.74	4.88	31.32	1.60
24	No1-10	17	13	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	9.26	1.00	WDTN	65.31	0.00	40.72	10.61	12.43	1.02
25	No1-11	38	25	銅片	TSTY	TSTY	TSTY	6.44	1.00	TSHG	21.52	0.00	23.30	4.74	30.48	1.60
26	No1-12	27	9	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	2.47	1.00	WDTN	55.10	0.00	39.74	10.56	11.30	1.04
27	No1-13	27	9	銅片	TSTY	TSTY	TSTY	3.04	0.99	TSHG	7.88	0.01	23.04	5.44	30.96	1.69
28	No1-14	27	9	銅片	WDTY	WDTY	WDTY	7.17	1.00	WDHY	14.38	0.00	53.95	13.65	0.13	1.11
29	No1-15	27	9	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	3.82	1.00	WDTK	94.95	0.00	38.38	11.19	11.85	1.04
30	No1-16	27	9	銅片	WDTY	WDTY	WDTY	3.15	0.95	WOKB	7.20	0.05	52.44	12.77	1.43	1.10
31	No1-17	27	9	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	3.83	1.00	WDTK	76.80	0.00	39.78	11.07	12.76	0.97
32	No1-18	27	9	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	5.86	1.00	WDTN	79.23	0.00	39.56	10.64	13.84	1.01
33	No1-19	35	12	銅片	TSTY	TSTY	TSTY	7.54	1.00	KZSX	14.45	0.00	24.26	5.14	29.57	1.69
34	No1-20	35	12	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	9.84	1.00	WDTK	109.13	0.00	39.35	11.23	14.45	1.03
35	No1-21	35	12	銅片	TSTY	TSTY	TSTY	2.82	0.96	KZSX	5.94	0.02	23.94	5.55	29.37	1.58
36	No1-22	35	12	銅片	TSTY	TSTY	TSTY	5.07	0.99	TSHG	8.19	0.01	23.72	5.20	31.56	1.58
37	No1-23	26	11	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	2.15	1.00	WDTN	85.76	0.00	38.07	10.77	13.35	1.11
38	No1-24	27	26	銅片	TSTY	TSTY	TSTY	7.35	1.00	KZSX	32.01	0.00	20.12	4.71	31.18	1.76
39	No1-25	27	26	銅片	TSTY	TSTY	TSTY	4.69	1.00	KZSX	14.18	0.00	22.10	5.51	31.18	1.72
40	No1-26	27	26	銅片	TSTY	TSTY	TSTY	3.77	0.99	KZSX	9.45	0.01	23.35	5.50	30.17	1.62
41	No1-27	27	26	銅片	TSTY	TSTY	TSTY	3.37	1.00	TSHG	24.74	0.00	20.96	4.92	32.32	1.78
42	No1-28	27	26	銅片	TSTY	TSTY	TSTY	7.06	0.97	TSHG	8.93	0.03	24.45	5.40	30.43	1.66
43	No1-29	27	26	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	4.37	1.00	WDTN	72.61	0.00	39.77	10.99	10.64	1.03
44	No1-30	27	26	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	5.32	1.00	WDTN	81.51	0.00	38.43	10.95	10.77	1.02
45	No1-31	27	26	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	2.72	1.00	WDTN	101.74	0.00	38.32	11.02	13.67	1.00
46	No1-32	27	27	銅片	WDTY	WDTY	WDTY	0.90	1.00	WOKB	17.51	0.00	53.72	13.14	0.35	1.14
47	No1-33	27	28	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	7.38	1.00	WDTN	55.21	0.00	40.47	10.46	11.71	1.02
48	No1-34	27	28	銅片	WDTY	WDTY	WDTY	4.78	1.00	WOKB	21.82	0.00	51.83	13.29	1.40	1.08
49	No1-35	27	29	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	2.33	1.00	WDTN	87.13	0.00	38.70	10.80	13.99	1.02
50	No1-36	27	29	銅片	TSTY	TSTY	TSTY	13.53	1.00	KZSX	21.22	0.00	19.96	5.50	30.19	1.76
51	No1-37	27	29	銅片	TSTY	TSTY	TSTY	3.25	1.00	KZSX	11.77	0.00	22.41	5.40	30.94	1.60
52	No1-38	27	29	銅片	TSTY	TSTY	TSTY	4.22	1.00	KZSX	24.11	0.00	21.11	4.90	31.42	1.76
53	No1-39	27	29	銅片	TSTY	TSTY	TSTY	22.87	1.00	KZSX	50.69	0.00	20.08	4.86	39.88	1.79
54	No1-40	27	30	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	2.75	1.00	WDTN	90.13	0.00	37.53	10.85	12.19	1.01
55	No1-41	27	30	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	6.05	1.00	WDTN	107.88	0.00	36.85	11.03	12.69	1.00
56	No1-42	27	30	銅片	TSTY	TSTY	TSTY	4.30	0.98	KZSX	8.23	0.02	23.23	5.58	29.30	1.60
57	No1-43	27	30	銅片	WDTY	WDTY	WDTY	5.62	1.00	WDHY	19.60	0.00	54.56	13.46	0.13	1.13
58	No1-44	27	46	銅片	不可	不可	WOTM	36.37	0.99	WOTM	45.41	0.01	37.00	8.85	14.73	1.14
59	No1-45	27	46	銅片	WOKB	WOKB	WOKB	4.51	0.99	WDTK	13.57	0.01	51.70	11.73	1.67	1.21
60	No1-46	27	46	銅片	WDTY	WDTY	WDTY	4.55	1.00	WDHY	16.20	0.00	54.42	13.56	0.13	1.12
61	No12-1	29	9	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	1.14	1.00	WDTN	84.18	0.00	38.73	11.00	11.99	0.98
62	No12-2	29	9	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	3.70	1.00	WDTN	62.85	0.00	39.89	10.53	12.43	1.04
63	No12-3	29	9	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	1.94	1.00	WDTN	71.30	0.00	39.64	10.89	11.49	1.04
64	No12-4	29	10	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	1.05	1.00	WDTN	73.96	0.00	38.20	10.49	13.09	1.05
65	No12-5	29	10	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	1.21	1.00	WDTN	74.75	0.00	38.37	10.50	13.51	1.04
66	No12-6	29	10	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	1.35	1.00	WDTN	76.30	0.00	38.25	10.49	13.62	1.04
67	No12-7	29	10	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	6.13	1.00	WDTK	90.94	0.00	39.87	11.30	12.92	1.02
68	No12-8	29	11	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	1.78	1.00	WDTN	62.25	0.00	39.14	10.61	11.54	1.03
69	No12-9	29	11	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	3.61	1.00	WDTK	79.56	0.00	39.94	11.24	12.10	1.03
70	No12-10	29	12	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	2.80	1.00	WDTN	60.76	0.00	38.67	10.33	12.44	1.03
71	No12-11	32	9	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	4.76	1.00	WDTN	90.81	0.00	37.89	10.93	12.20	1.05
72	No12-12	32	9	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	5.72	1.00	WDTN	49.79	0.00	40.86	10.47	12.22	1.05
73	No12-13	32	9	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	2.81	1.00	WDTN	64.28	0.00	39.56	10.71	11.17	1.05
74	No12-14	32	9	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	6.74	1.00	WDTK	112.11	0.00	37.29	11.27	11.77	1.04
75	No12-15	32	9	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	5.27	1.00	WDTK	87.02	0.00	38.22	11.12	13.19	1.03
76	No12-16	32	9	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	30.48	1.00	WDTK	130.65	0.00	40.23	11.28	15.91	1.02
77	No12-17	32	9	銅片	SWHD	SWHD	SWHD	10.89	1.00	WDTK	116.87	0.00	37.15	11.28	13.77	1.04

表4 ジャコッパラ遺跡群の産地推定結果(2)

No	分析No	報告書No	調査番号	経緯	推定産地	元素		判別分析						Rsb6	Mn/Fe	Sr6	Fe/K
						判別1	判別2	距離1	距離2	確率1	確率2	距離2	確率2				
78	No12-18	32集	9第8	台形礫石群	SWHD	SWHD	SWHD	8.61	1.00	WDTN	82.45	0.00	39.88	10.67	14.26	1.04	
79	No12-19	32集	9第9	台形礫石群	SWHD	SWHD	SWHD	2.22	1.00	WDTN	74.36	0.00	38.38	10.73	11.70	1.04	
80	No12-20	32集	10第10	加工製片	SWHD	SWHD	SWHD	7.88	1.00	WDTN	83.30	0.00	37.34	10.39	14.72	1.04	
81	No12-21	32集	10第11	加工製片	SWHD	SWHD	SWHD	21.60	1.00	WDTN	111.79	0.00	40.38	11.27	12.66	1.05	
82	No12-22	32集	10第12	加工製片	SWHD	SWHD	SWHD	8.32	1.00	WDTK	125.48	0.00	37.26	11.49	13.45	0.98	
83	No12-23	32集	10第13	ナイフ形石群	WDTY	WDTY	WDTY	2.35	1.00	WDHY	15.99	0.00	34.98	13.30	0.22	1.07	
84	No12-24	32集	10第14	ナイフ形石群	TSY	TSY	TSY	1.47	1.00	TSHG	10.21	0.00	23.73	5.10	29.80	1.64	
85	No12-25	32集	10第15	ナイフ形石群	WDTY	WDTY	WDTY	4.77	1.00	WDHY	21.01	0.00	30.00	13.50	0.08	1.14	
86	No12-26	32集	写真1上左	製片	不可	不可	TSY	18.93	0.56	TSHG	19.66	0.04	26.18	4.43	29.31	1.39	
87	No12-27	32集	写真1上右	製片	SWHD	SWHD	SWHD	9.52	1.00	WDTN	84.49	0.00	39.49	11.23	9.72	1.04	
88	No12-28	32集	写真1上中	製片	SWHD	SWHD	SWHD	6.83	1.00	WDTK	100.53	0.00	38.75	11.32	11.57	1.05	
89	No12-29	32集	写真1中左	製片	TSY	TSY	TSY	5.13	1.00	KZSX	21.09	0.00	23.34	4.67	29.47	1.67	
91	No12-31	32集	写真1中右	製片	TSY	TSY	TSY	1.75	1.00	KZSX	8.56	0.00	22.35	5.45	29.79	1.61	
92	No12-32	32集	写真1下左	製片	SWHD	SWHD	SWHD	3.79	1.00	WDTN	116.17	0.00	37.19	10.77	14.41	1.04	
93	No12-33	32集	写真1下中	製片	SWHD	SWHD	SWHD	0.62	1.00	WDTK	72.81	0.00	36.68	10.67	12.25	1.03	
94	No12-34	32集	写真1下右	製片	SWHD	SWHD	SWHD	2.34	1.00	WDTN	77.14	0.00	37.26	10.35	12.96	1.07	
95	No12-35	32集	12第18	ナイフ形石群	SWHD	SWHD	SWHD	1.69	1.00	WDTN	67.51	0.00	38.40	10.52	11.73	1.04	
96	No12-36	32集	12第19	ナイフ形石群	SWHD	SWHD	SWHD	4.11	1.00	WDTN	70.79	0.00	38.10	10.78	12.51	1.02	
97	No12-37	32集	12第20	ナイフ形石群	SWHD	SWHD	SWHD	6.41	1.00	WDTN	78.33	0.00	38.18	10.76	10.61	1.06	
98	No12-38	32集	12第21	ナイフ形石群	SWHD	SWHD	SWHD	12.17	1.00	WDTN	83.62	0.00	40.58	10.75	14.46	1.05	
99	No12-39	32集	12第22	ナイフ形石群	SWHD	SWHD	SWHD	10.81	1.00	WDTK	128.02	0.00	36.65	11.43	13.17	1.01	
100	No12-40	32集	12第23	ナイフ形石群	SWHD	SWHD	SWHD	5.59	1.00	WDTN	82.36	0.00	39.31	10.72	13.22	1.02	
101	No12-41	32集	12第24	ナイフ形石群	SWHD	SWHD	SWHD	2.66	1.00	WDTK	83.68	0.00	38.42	10.93	12.13	1.02	
102	No12-42	32集	12第25	ナイフ形石群	TSY	TSY	TSY	3.28	1.00	TSHG	15.99	0.00	23.31	4.79	30.57	1.62	
103	No12-43	32集	12第26	ナイフ形石群	SWHD	SWHD	SWHD	6.43	1.00	WDTK	116.49	0.00	37.45	11.39	13.07	1.03	
104	No12-44	32集	12第27	ナイフ形石群	SWHD	SWHD	SWHD	7.10	1.00	WDTK	81.66	0.00	40.37	11.37	11.77	1.04	
105	No12-45	32集	12第28	ナイフ形石群	TSY	TSY	TSY	2.46	1.00	TSHG	12.49	0.00	22.32	5.22	31.40	1.64	
106	No12-46	32集	12第29	ナイフ形石群	SWHD	SWHD	SWHD	1.95	1.00	WDTN	73.88	0.00	39.64	10.80	13.17	1.03	
107	No12-47	32集	12第31	ナイフ形石群	SWHD	SWHD	SWHD	6.44	1.00	WDTK	115.23	0.00	38.11	11.40	13.97	1.04	
108	No12-48	32集	12第32	ナイフ形石群	TSY	TSY	TSY	5.89	1.00	TSHG	14.44	0.00	23.25	5.27	31.42	1.63	
109	No12-49	32集	12第33	ナイフ形石群	TSY	TSY	TSY	7.93	0.98	TSHG	12.15	0.01	23.94	5.53	30.55	1.89	
110	No12-50	32集	12第34	ナイフ形石群	SWHD	SWHD	SWHD	5.40	1.00	WDTK	118.15	0.00	35.97	10.90	13.90	1.00	
111	No12-51	32集	12第35	ナイフ形石群	SWHD	SWHD	SWHD	6.52	1.00	WDTK	114.27	0.00	37.35	11.32	12.98	1.05	
112	No12-52	32集	12第36	ナイフ形石群	SWHD	SWHD	SWHD	4.45	1.00	WDTK	72.74	0.00	37.60	10.24	13.94	1.07	
113	No12-53	32集	12第37	角礫状石群	WDTY	WDTY	WDTY	9.49	1.00	WDHY	16.02	0.00	52.70	13.98	1.08	1.07	
114	No12-54	32集	12第38	尖鋭状石群	SWHD	SWHD	SWHD	3.21	1.00	WDTN	111.84	0.00	37.65	11.17	13.87	1.05	
115	No12-55	32集	写真2上左端	製片	SWHD	SWHD	SWHD	3.71	1.00	WDTK	81.26	0.00	39.21	10.74	13.21	1.04	
116	No12-56	32集	写真2上右	製片	TSY	TSY	TSY	0.97	1.00	KZSX	11.31	0.00	23.19	5.22	30.17	1.62	
117	No12-57	32集	写真2上中	製片	SWHD	SWHD	SWHD	3.18	1.00	WDTK	96.29	0.00	38.65	11.22	13.23	1.02	
118	No12-58	32集	写真2上右端	製片	TSY	TSY	TSY	3.39	0.97	KZSX	6.78	0.02	24.43	5.30	28.86	1.65	
119	No12-59	32集	写真2下左端	製片	WDTY	WDTY	WDTY	10.97	1.00	WDHY	29.64	0.00	51.49	13.67	0.69	1.10	
120	No12-60	32集	写真2下左	製片	WDTY	WDTY	WDTY	5.76	1.00	WDKB	16.03	0.00	51.67	13.02	7.73	1.12	
121	No12-61	32集	写真2下右	製片	TSY	TSY	TSY	5.20	0.98	KZSX	8.21	0.02	23.07	5.55	29.62	1.63	
122	No12-62	32集	写真2下右端	製片	SWHD	SWHD	SWHD	9.28	1.00	WDTK	95.26	0.00	39.91	11.36	13.88	1.03	
123	No12-63	32集	写真3-1	石礫	SWHD	SWHD	SWHD	13.00	1.00	WDTK	99.32	0.00	39.23	11.45	10.09	0.99	
124	No12-64	32集	写真3-2	石礫	不可	不可	WDTY	22.29	1.00	WDHY	35.06	0.00	39.84	9.51	12.62	1.08	
125	No12-65	32集	写真3-3	石礫	SWHD	SWHD	SWHD	2.33	1.00	WDTN	61.17	0.00	40.22	10.68	12.28	1.04	
126	No12-66	32集	写真3-4	石礫	SWHD	SWHD	SWHD	2.91	1.00	WDTK	95.01	0.00	38.01	10.71	14.64	1.05	
127	No12-67	32集	写真3-5	石礫	SWHD	SWHD	SWHD	14.94	1.00	WDTK	99.15	0.00	40.07	11.06	14.79	1.01	
128	No12-68	32集	写真3-6	石礫	SWHD	SWHD	SWHD	4.41	1.00	WDTK	98.56	0.00	36.86	10.53	14.20	1.04	
129	No12-69	32集	写真3-7	石礫	SWHD	SWHD	SWHD	6.44	1.00	WDTK	80.18	0.00	38.06	10.26	14.95	1.04	
130	No12-70	32集	写真3-8	石礫	WDTY	WDTY	WDTY	1.33	1.00	WDHY	15.80	0.00	53.84	13.20	2.00	1.11	
131	No12-71	32集	写真3-9	石礫	SWHD	SWHD	SWHD	19.74	1.00	WDTK	102.13	0.00	40.19	11.24	11.06	1.04	
132	No12-72	32集	写真3-10	石礫	SWHD	SWHD	SWHD	5.33	1.00	WDTK	62.08	0.00	39.44	10.29	13.46	1.05	
133	No12-73	32集	写真3-11	石礫	SWHD	SWHD	SWHD	1.88	1.00	WDTK	82.54	0.00	39.28	11.06	11.61	1.03	
134	No12-74	32集	写真4上左端	加工製片	SWHD	SWHD	SWHD	10.04	1.00	WDTK	92.78	0.00	37.18	10.84	10.99	1.01	
135	No12-75	32集	写真4下左	ナイフ形石群	TSY	TSY	TSY	0.99	1.00	KZSX	12.37	0.00	22.32	5.10	29.62	1.61	
136	No12-76	32集	写真4下右	ナイフ形石群	SWHD	SWHD	SWHD	15.47	1.00	WDTK	121.06	0.00	37.08	11.42	10.88	1.04	
137	No12-77	32集	写真4下右端	ナイフ形石群	SWHD	SWHD	SWHD	9.30	1.00	WDTK	68.60	0.00	39.07	10.36	13.87	1.02	
138	No12-78	32集	写真4下左	ナイフ形石群	SWHD	SWHD	SWHD	3.61	1.00	WDTK	79.34	0.00	38.46	10.53	13.01	1.03	
139	No12-79	32集	写真4下右	ナイフ形石群	SWHD	SWHD	SWHD	2.39	1.00	WDTK	84.47	0.00	39.47	11.10	12.01	0.99	
140	No12-80	32集	写真4下右端	ナイフ形石群	WDTY	WDTY	WDTY	0.81	1.00	KZSX	13.77	0.00	21.96	5.34	30.90	1.65	
141	No13-1	30集	10第1	製片	WDTY	WDTY	WDTY	3.12	1.00	WDHY	9.73	0.00	54.09	13.68	0.67	1.11	
142	No13-2	30集	10第2	製片	WDKB	WDKB	WDKB	0.81	1.00	WDHY	14.44	0.00	51.19	12.21	2.76	1.12	
143	No13-3	30集	10第3	製片	WDTY	WDTY	WDTY	11.43	1.00	WDHY	27.58	0.00	51.36	13.83	1.20	1.10	
144	No13-4	30集	10第4	製片	WDTY	WDTY	WDTY	8.75	1.00	WDHY	22.21	0.00	51.92	13.79	1.11	1.11	
145	No13-5	30集	10第5	製片	WDTN	WDTY	WDTY	4.08	1.00	WDKB	23.17	0.00	58.49	13.23	0.00	1.10	
146	No13-6	30集	13第1	台形礫石群	TSY	TSY	TSY	4.20	1.00	TSHG	18.07	0.00	23.18	5.37	31.01	1.62	
147	No13-7	35集	17第1	製片	WDTY	WDTY	WDTY	3.84	1.00	WDKB	23.04	0.00	52.75	12.24	0.62	1.11	
148	No13-8	35集	17第2	製片	WDTY	WDTY	WDTY	5.52	1.00	WDKB	11.72	0.00	58.48	12.99	1.41	1.10	
149	No13-9	35集	17第3	製片	WDTY	WDTY	WDTY	2.23	1.00	WDKB	14.43	0.00	53.25	13.04	1.66	1.12	
150	No13-10	35集	17第4	製片	WDTY	WDTY	WDTY	5.75	1.00	WDHY	23.95	0.00	52.75	13.41	2.44	1.09	
151	No21-1	46集	8第1	製片	TSY	TSY	TSY	1.54	1.00	TSHG	11.81	0.00	23.53	4.93	30.08	1.84	
152	No21-2	46集	8第2	製片	TSY	TSY	TSY	0.76	1.00	TSHG	9.70	0.00	23.50	5.11	29.62	1.85	
153	No21-3	46集	8第3	製片	TSY	TSY	TSY	4.87	1.00	KZSX	12.39	0.00	24.01	4.94	28.48	1.63	
154	No21-4	46集	8第4	製片	TSY	TSY	TSY	4.26	1.00	TSHG	11.78	0.00	24.01	4.89	30.53	1.58	

# 写真図版



高島藩主廟所全景 (北西から)



調査区全景 (南から)



1 トレンチ完掘 (南から)



1 トレンチ東壁 (西から)



2 トレンチ完掘 (南から)



2 トレンチ東壁 (西から)



3 トレンチ完掘 (南から)



3 トレンチ東壁 (西から)



大安寺遺跡全景 (南から)



調査区全景 (西から)



1 グリッド完掘 (南から)



2 グリッド完掘 (南から)



3 グリッド完掘 (北から)



3 グリッド南壁 (北から)



4 グリッド完掘 (南から)



5 グリッド完掘 (南から)

写真図版 3



諏訪神社上社遺跡全景（北から）



調査区全景（1・2グリッド、南から）



調査区全景（3グリッド、西から）

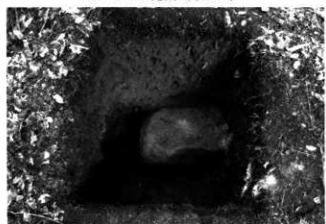




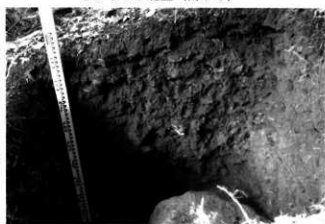
1 グリッド完掘 (東から)



1 グリッド北壁 (南から)



2 グリッド完掘 (東から)



2 グリッド南壁 (北から)



3 グリッド完掘 (北から)



3 グリッド南壁 (北から)



境内掘削工事の様子 (神楽殿前、南東から)



掘削断面 (神楽殿前、南から)



ジャコッバラ遺跡群遠景 (杖突峠から北を望む)



ジャコッバラNo.22遺跡全景 (森林部分、北から)



石器集中出土地点周辺 (南西から)



調査区の現況 (尾根西斜面、西から)



7グリッド完掘 (南から)



7グリッド北壁 (南から)



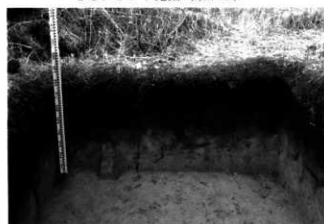
7グリッド黒羅石石器出土状況 (北東から)



13グリッド完掘 (東から)



20グリッド完掘 (東から)



20グリッド北壁 (南から)



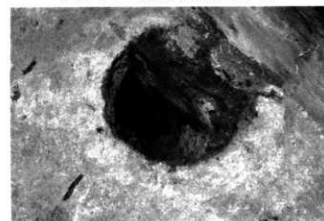
20グリッド黒曜石器出土状況 (北から)



21グリッド遺構検出状況 (西から)



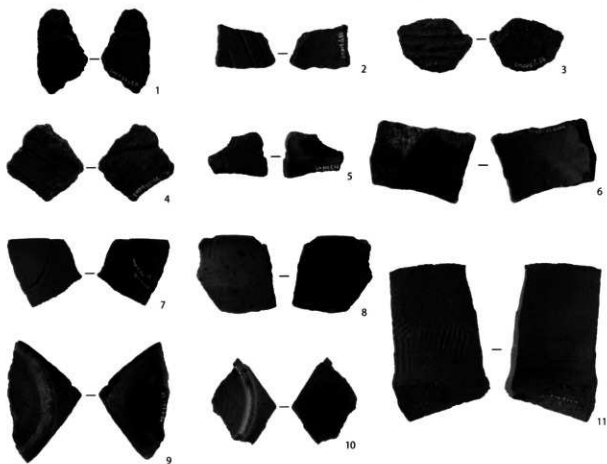
21グリッド西壁 (東から)



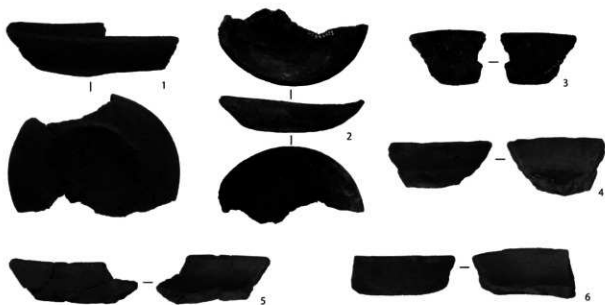
21グリッド小竪穴1半裁 (西から)



調査風景 (手前は21グリッド)



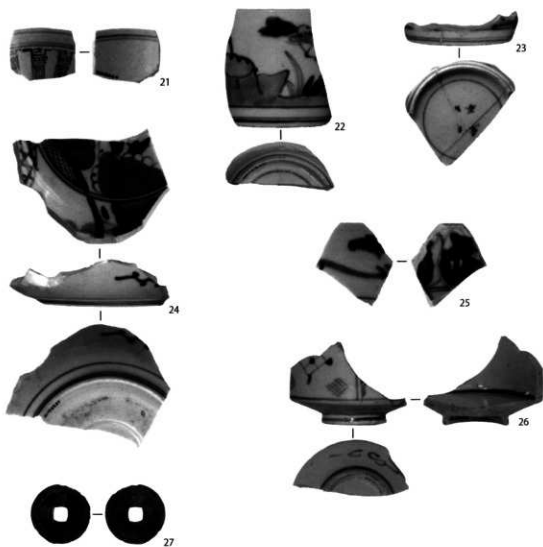
大安寺遺跡出土遺物



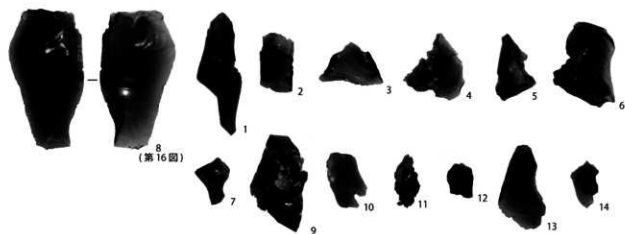
諏訪神社上社遺跡出土遺物 (1)



深訪神社上社遺跡出土遺物 (2)



諏訪神社上社遺跡出土遺物 (3)



ジャコッバラNo.2 2遺跡出土遺物

報告書抄録

ふりがな	しないいせきはつちょうさほうこくしよへいせいじゅうろくねんど									
書名	市内遺跡発掘調査報告書(平成26年度)									
副書名	長野県諏訪市内遺跡発掘調査報告書									
巻次										
シリーズ名	諏訪市埋蔵文化財調査報告									
シリーズ番号	第75集									
編著者名	見玉 利一									
編集機関	諏訪市教育委員会									
所在地	〒392-8511 長野県諏訪市高島1-22-30 電話0266-52-4141									
発行年月日	平成27(2015)年3月26日									
ふりがな	ふりがな	コード		北緯		東経		発掘期間	発掘面積 ㎡	発掘原因
所収遺跡	所在地	市町村	遺跡番号	°	'	°	'			
たかしなほほんしよびょうしよ	すわしなかむすきたけいしよ									
高島藩主廟所	諏訪市上諏訪北垣外 10637-15	20206	57	36° 04' 95"	138° 12' 02"	20140313 ～ 20140317		3		保存目的のための 範囲内容確認調査
だいあんじいせき	すわしよとよだちむらやまじ									
大安寺遺跡	諏訪市豊田平林 3595-1	20206	317	38° 01' 75"	138° 08' 70"	20140416 ～ 20140417		20		個人住宅建設に係る 試掘・確認調査
すわじんじせきのしせき	すわしなかむすきたけいしよ									
諏訪神社上社遺跡	諏訪市中洲宮山1	20206	352	35° 09' 79"	138° 11' 94"	20140603 ～ 20140604		3		防災設備設置に係る 試掘・確認調査
ジャコッパラNo.22遺跡	すわししがきりがわ									
ジャコッパラNo.22遺跡	諏訪市四賀藤ヶ塚 7719-189地	20206	451	36° 05' 27"	138° 15' 40"	20141104 ～ 20141120		64		太陽光発電施設建設に係る 試掘・確認調査
所収遺跡	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項		
高島藩主廟所	墓	近世								
大安寺遺跡	集落	縄文・弥生・平安				土器・土師器				
諏訪神社上社遺跡	社寺	中世・近世・近代				カワラケ・陶器・磁器・ 銭貨				
ジャコッパラNo.22遺跡	散布地	旧石器		石器集中出土地点1・小塚穴1		石器				
要約	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高島藩主廟所 第2次：近現代の石遺物片少量出土。</li> <li>・大安寺遺跡 第14次：遺物少量出土。</li> <li>・諏訪神社上社遺跡 第7次：造成土を検出。中・近世遺物出土。</li> <li>・ジャコッパラNo.22遺跡 第2次：旧石器時代の黒曜石石器集中出土地点を検出。</li> </ul>									

市内遺跡発掘調査報告書（平成26年度）

－長野県諏訪市内遺跡発掘調査報告書－

平成27年3月26日

編集・発行 長野県諏訪市高島1-22-30  
諏訪市教育委員会

印刷 有限会社増澤印刷所